

第4章

特徴的な学校の取組の紹介

児童生徒の学力を大きく伸ばした学校の実践を紹介します。

各学校において、本章で掲載されている児童生徒の学力の伸びを引き出した効果的な取組を、今後の取組の参考としてお役立てください。

今年度は、以下の8校の取組を紹介します。

上尾市立平方北小学校	越生町立梅園小学校
神川町立青柳小学校	杉戸町立泉小学校
桶川市立桶川東中学校	川越市立城南中学校
深谷市立川本中学校	春日部市立葛飾中学校





上尾市立平方北小学校の取組

1 本校の概要

本校は上尾市の西に位置し、豊かな自然に恵まれた小規模校である。本校はウェルビーイングの考えを共通理解することで、心理的安全性の高いチームを構築し、目指す学校像「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」の実現と、本校の重点課題である「学力向上」に向け、個々の教員の力を主体的に発揮するとともに、対話的・協働的に丸となって取り組んでいる。また、令和3年度から2年間、上尾市教育委員会から学習指導（国語科・算数科）の研究委嘱を受け、「確かな学力を身に付け、わかる楽しさを味わう児童の育成～基礎的な知識・技能の定着を図る学習指導を通して～」をテーマに掲げ、「分かることと、学ぶことの楽しさ」を味わわせる学習環境づくりや指導方法の工夫改善の研究に取り組んでいる。



2 令和3・4年度の結果

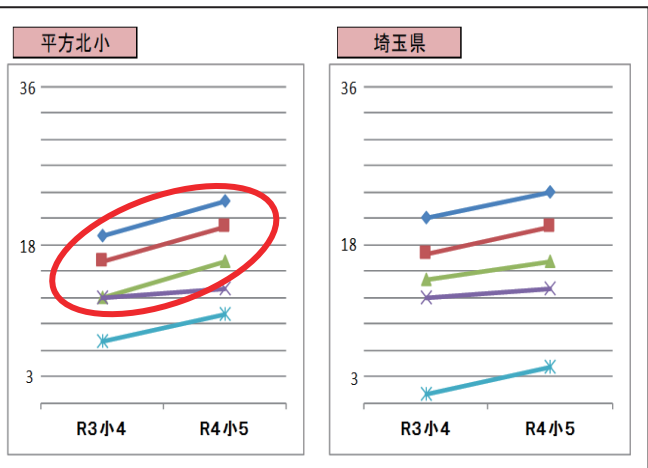
小学校4年生→小学校5年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【算数】

今までの学力の変化

	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生
高						
↑						
学						
力						
↓						
低						

学力の伸びの状況



- 学力の伸びが県平均を2上回るとともに、学力のレベルが県平均と同程度に向上した。
- 全体的に学力の伸びが見られるが、中位層から上位層の伸びが特に大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 学習の基礎・基本を定着させるための授業改善の工夫

①思考の流れが分かる構造的な板書による課題の焦点化②テンポのよいメリハリのある授業展開の工夫③問題解決的な授業を展開するための視点の明確化とノートの使い方の統一④毎時間の授業における習熟の時間の確保⑤学習内容と具体物（半具体物）や体験活動とを関連付けた実感を伴う授業の実施。

イ 学習に対する達成感と主体性を高めるための工夫

①習熟度に応じた問題に取り組み、学習内容の習熟を図るための「かずのじかん（業前活動）」の設定②「ひらっきー算数プリント（いつでも自由に使えるプリント）」の活用③「算数コーナー（長さや形・量感を体験する場）」の設置④スクールタクト（※）を活用したデジタル教材の作成と活用



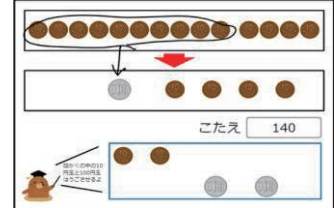
【かずのじかん】



【ひらっきー算数プリント】



【算数コーナー】



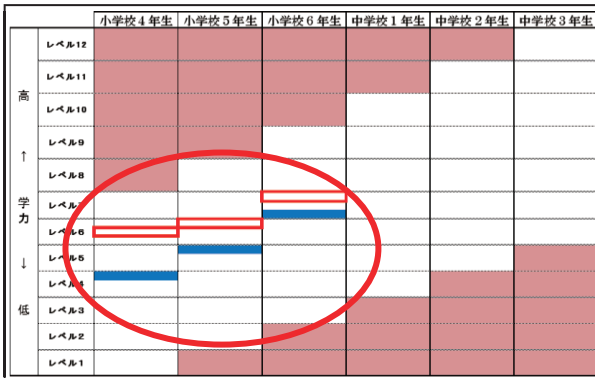
【スクールタクトの活用】

※ スクールタクト…授業支援クラウドサービス

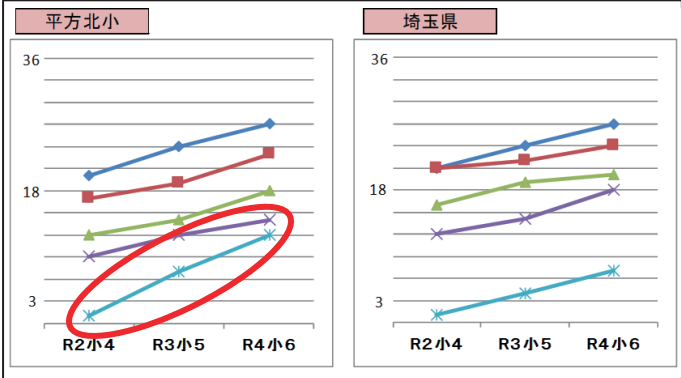
小学校5年生→小学校6年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【国語】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 学力の伸びが県平均を1上回るとともに、学力のレベルについては、県平均との差が縮まっている。
- どの学力層の児童も学力を伸ばしているが、特に下位層の伸びが大きい。

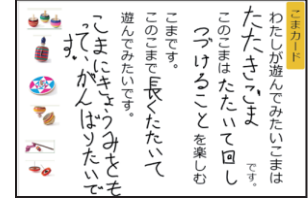
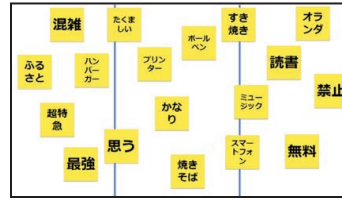
(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 言葉を大切にする指導の工夫

①児童が自分の考えを言語化し、伝え合う活動を充実させるための話型の作成と活用②語彙力を育てるための「短文作り」の実施③国語辞典やタブレット端末を活用した言葉の意味を調べる活動の充実④教師が児童にとって大きな言語環境になることを意識した指導の実施⑤丁寧な言葉（「～です。～ます。」）を使わせ、文章で話をする力、思いを豊かに表現できる力を育てる指導の実施

イ 言語環境を充実させるための工夫

①「ことばのじかん（朝の活動）」を活用した視写の取組の実施②「国語コーナー」の設置③学校図書館支援員による読み聞かせの実施④接続語、指示語の一覧表の作成と活用⑤J a m b o a r d やスクールタクトを活用したデジタル教材の作成と活用



【学校図書館支援員やALTによる読み聞かせ】【J a m b o a r dの活用】【スクールタクトの活用】

学校全体での取組

ア 児童一人一人を大切にされた学級経営と、自己有用感を高めさせることで学習意欲を高める

学級内の人間関係をほぐし、温かく一人一人が伸び伸びと活躍できる学級をつくることを通して学習意欲を高めるために、次のことに取り組んだ。①児童の反応や作成物等を基にした躰きの詳細な分析と、それに対応する発問・支援方法等の工夫②児童の意思決定場面を多く取り入れるなど、主体性を重視した学習活動の充実③特別活動（学級会）を基盤とした学級経営の充実④一人一人に役割をもたせ、自己有用感を味わわせる係活動や学校行事の実施。

イ 児童が気持ちよく学習に集中したり、学びの意欲を高めたりする環境づくり

児童が学ぶ意欲を高めるために、次の取組を行い「学びたくなる環境づくり」を行った。①UD化を意識した教室（シンプルで誰もが落ち着いて学べる）環境づくり②校内の森やビオトープを活用し、自然体験から得た感動や発見を通して学びを深め、心の安定を図る環境づくり。

ウ 児童・保護者との信頼関係を構築した学級経営

信頼関係の構築を目的として次のことに取り組むことで、人間関係を構築し、安心して学べる環境づくりに努めた。①児童理解を深める（児童の興味・関心を的確に捉え、会話を広げたり、休み時間に一緒に遊んだりする等）。②保護者との連絡を密にする（HPでクラスの様子をこまめに配信する等）。

エ 道徳教育を中心とした心の育成

道徳教育は、学びに向かうために必要な、素直で意欲的な心を耕す上でとても重要であることから、全校道徳授業参観・研究協議や管理職による道徳授業参観等を行い意識を高め、授業力向上を図っている。



越生町立梅園小学校の取組

1 本校の概要

本校は、埼玉県のはぼ中央に位置し、開校149周年を迎える。児童数86名、学級数8の各学年単級の小規模校である。学校教育目標を受け、「いつでも元気、本気、根気の梅園小 きれいに ていねいに うつくしく」を合言葉（スローガン）に、学校・家庭・地域・越生町が連携し、「夢や希望を自分の言葉で語る子ども」の育成を目指している。また、町全体で9年間を見通した小中一貫教育に力を注いでいる。1人1人の児童に寄り添った教育をさらに推進するため、全学級で特別支援教育の要素を取り入れ、UDの視点による授業の工夫を心がけている。あわせて、塾などに通う児童も少ないため家庭学習の啓発・定着にも努めている。

令和2年度からの研究課題を「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ子の育成」として、日々の授業の充実を目指し、学校研究の成果を引継ぎ、基礎学力の定着と学力向上を目指している。

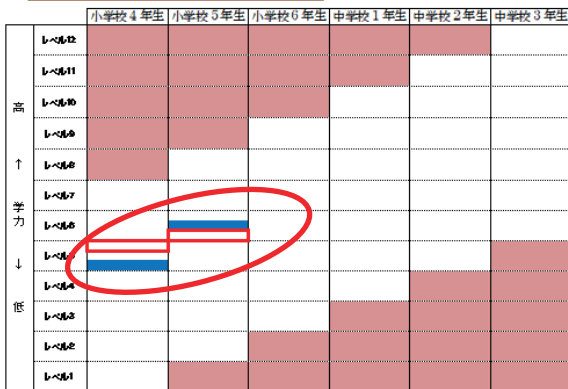


2 令和3・4年度の結果

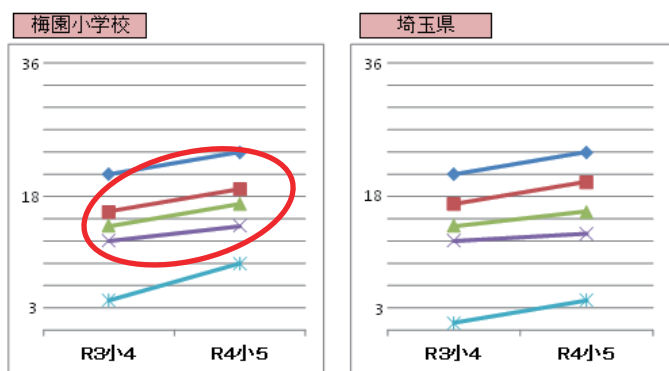
小学校4年生→小学校5年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【算数】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 小4から小5にかけて、学力のレベルが4上昇し、県平均を1上回った。
- 全体的に学力が伸びているが、特に、下位、中位層の学力の伸びが大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 教師の言葉による情意面への働きかけ

児童1人1人の特性を理解した上での、考えられる適切な声かけを意識した。「誉めて・認めて・伸ばす」の実践。

イ ペア学習・グループ学習の実践

教師主導型の授業からの脱却を目指し、意図的にペアやグループ学習の機会を増やした。学びがどこでつまずき、どこで深まったかを意識したり教師の役割の確認をしたりした授業改善・工夫の取組。

ウ ICT機器端末の積極的活用

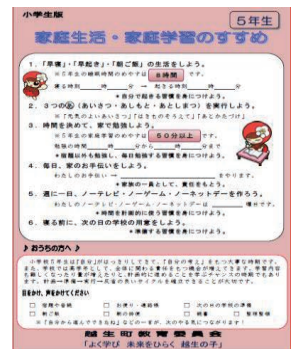
越生町は、ICT環境が早くから充実しているため、日頃から各教科・領域で意図的にタブレットを活用した授業を展開。

エ タブレットドリルの取組

12月に取り組む町独自の学力調査を実施。調査会社提供のタブレットドリルを朝の算数タイム隙間時間で繰り返し実施。

オ 家庭学習の定着

年度当初・中間、年度末における家庭学習リーフレットによる定期的な啓発とアンケートによる

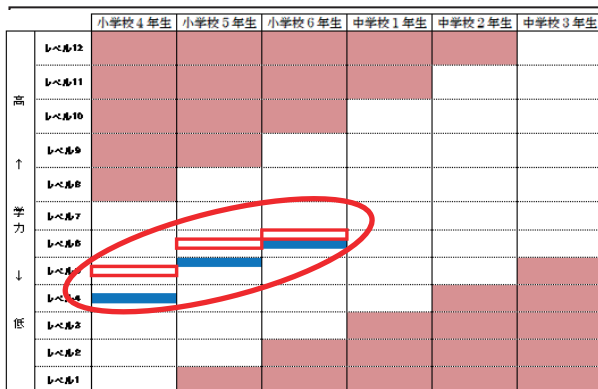


定着の確認。

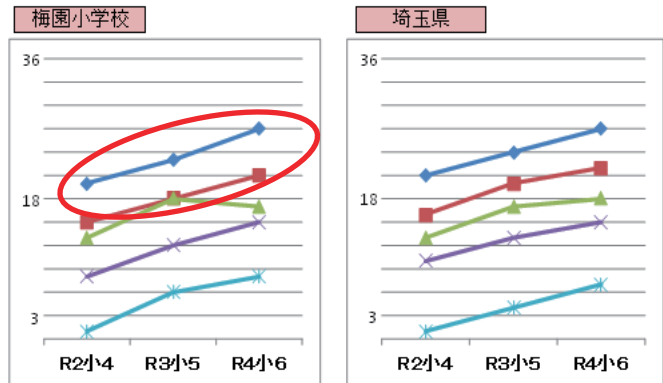
小学校5年生→小学校6年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【算数】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 学力レベルが県より1上回るとともに、学力の伸びが県平均に近づいている。
- 学力を伸ばした児童の割合(91.7%)が高く、特に上位層が伸びている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 自分事として捉える問題場面の工夫

児童が解決したいと思う問題場面を設定し、主体的に学習できる工夫を行った。例えば、人口密度の学習では、「越生町」の人口密度を様々な市町村と比較、ランキングにまとめる活動を行った。求める人口密度を1km²に見立てた一辺が20cmの正方形の中に、丸シールを貼り視覚化する活動を行い、量感を伴った理解へとつなげた。

イ 自らの考えを伝え合う活動の充実

自力解決後には、自らの考えについて他の児童と意見交流し、伝え合う時間を十分に確保した。教師が指名して順番に発表するような形式ではなく、「伝えたい人に何度でも伝える。」「相手の説明を批判的に聞き、分からないことがあったら質問する。」「自力解決できなかったら、自分がわかる方法を見つける。」といった視点をもって行った。この活動後には、伝え聞いた友達の意見を発表する場を設けた。これにより、話し手はさらに詳しく説明し、聞き手は相手の考えを理解しようとする姿勢が強くなり、理解が深まった。

学力を伸ばした児童の割合(%)		
	国語	算数
埼玉県	76.9	67.5
梅園小	100	91.7

学校全体での取組

ア 算数の学習の進め方の統一

梅小スタンダードの実践「基礎プリント⇒問題設定⇒課題把握⇒見通し⇒自力解決⇒練り上げ⇒まとめ⇒練習問題⇒振り返りの流れの徹底。毎年、授業の流れが大きく変わることがないよう、どの教員が担任でも大枠の流れに沿って進め、児童が安心して学べる授業作りの構築。

イ 外部指導者による俯瞰

数年単位で同じ指導者に客観的・継続的に児童や教師の変容の様子を見ていただき、指導・助言を受けることで、確実な成長を目指す取組。

ウ 各種調査分析による弱点の可視化

各種調査結果を受けて、特に、弱点・苦手とする項目をピックアップし、復習の時間の設定。あわせて、指導書や年間指導計画に印や書き込みを入れることで、翌年の担任等が認識できるよう可視化。

エ 県学力向上ワークシートの計画的な取組

小中連携の観点から町内3校(梅園小学校・越生小学校・越生中学校)の課題について、町学力向上推進委員会で県教育局作成の学力向上ワークシート内から選定した国語・算数の問題を、タブレットを通じて配信し、全学年が計画に基づいて取り組むことで基礎学力の定着を図り、同時にICT操作への慣れも目指す実践。



神川町立青柳小学校の取組

1 本校の概要

本校は、埼玉県北部に位置する、開校149周年を迎える学校である。全校児童は177人、学級数9の小規模校である。

学校目標「なかよく かしこく たくましく」の下、全教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいる。今年度は、「主体的に学び合い、確かな学力を身に付けた児童の育成～国語科における『読むこと・書くこと』の指導の工夫」を研究主題に、主に国語の説明文教材を中心に、授業を通して学力の向上を推進している。

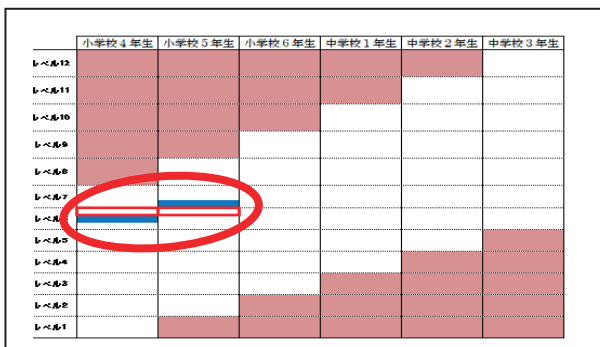


2 令和3・4年度の結果

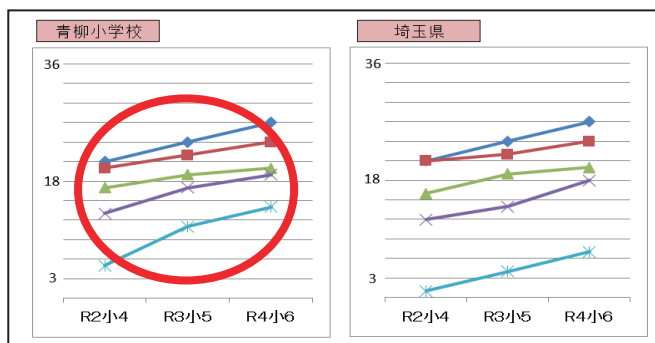
小学校4年生→小学校5年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【国語】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 中位層を中心にどの学力層も学力が向上している。
- 学力を伸ばした児童が74.2%で、埼玉県平均の55.0%を上回っている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 見通しをもたせる導入の工夫

各単元の導入時に単元の目標や最終的な成果物(モデル)を示し、児童に目的意識をもたせて毎時間の授業を実施している。

イ ユニット学習とタブレット学習の融合

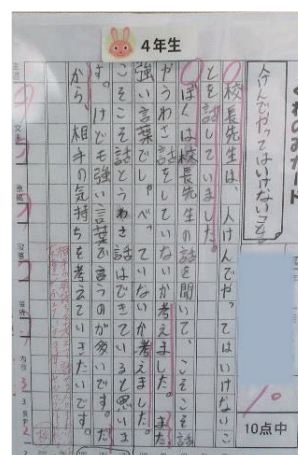
ユニット学習という少人数による話し合い活動を各授業で実施している。その中でタブレットのアプリケーションや図などを有効に活用して、友達と考えを比較したり、交流したりする活動を行っている。

ウ コラムタイム(金曜日の朝の時間)

毎週、新聞記事を読み、その内容の要約と自分の意見とを段落を分けて、記入する取組を実施している。今年度からは、隔週で宿題として取り組ませることで、家庭との連携も図っている。

エ くわのみカード(全校朝会)

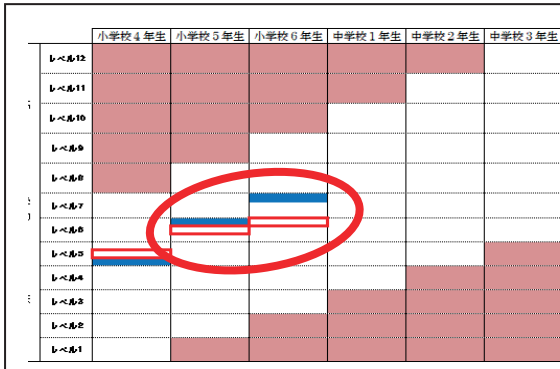
全校朝会の校長講話を聴き、講話の内容と自分の意見とを段落を分けて、記入する取組を実施している。段落分けに加えて、既習漢字の使用や、接続語の活用などを指導のポイントとしている。



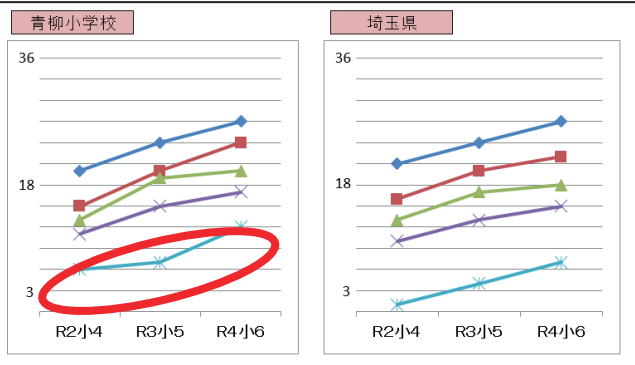
小学校5年生→小学校6年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【算数】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 学力を伸ばした児童の割合は、81.8%で、県の67.1%を上回っている。
- どの学力層も学力が向上している。特に下位層の伸びが大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 学習意欲を高める導入の工夫

各単元の導入時にその単元に関する活用問題を自力で解き、何が分かれば解けるようになるのか、児童に目的意識をもたせてから、毎時間の授業を実施している。

イ 構造的なノート指導案作成と授業後の検証

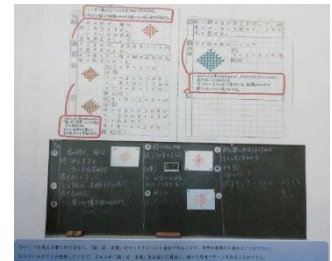
授業のポイントを3つ設けた構造的なノート指導案を作成している。授業後は、予め設けた3つのポイントを中心に検証を行っている。ノート指導案と検証結果をともに Google Drive に保存し、教職員が相互に閲覧できるようにしている。

ウ TTタイム（火曜日の清掃の時間）

毎週火曜日は清掃の時間に替えてTTタイムを実施している。全職員が全児童を指導する時間とし、1～3年生はマス計算による四則計算の定着、4～6年生はタブレットを活用し、個別最適な学習（主に復習シート等）を実施している。

エ チャレンジタイム（水曜日の朝の時間）

毎週金曜日に宿題に出した復習問題やコバトン問題等を翌週の水曜日にテストを実施して定着の確認を行う。



構造的なノート指導案

学校全体での取組

ア 国語・算数の市販テストの統一

国語・算数の市販テストの選択に、学年ごとのばらつきがみられた。このため、前年度のうちに校内で活用力をみる問題の有無などをポイントに、全校で統一したものを選択し、共通した指導ができるようにした。また、返却時の解説と再テストを定着ができるまで継続している。

イ 指導のズレの解消 「文書名人 5つの技」

コラムタイム・くわのみカードなどの書く活動では、教員の指導や評価にブレが生じやすい。このため、予め全校で評価のポイントをまとめた「文章名人 5つの技」を作成・活用し、指導や評価のブレがないよう徹底している。

ウ 「青小っ子できたよタイム」・「学期末テスト」の実施

毎学期末の5日間、5時間目を「青小っ子できたよタイム」とし、校内全体で各学期の学習の定着を図っている。児童には確認テストの実施を予告し、家庭と連携して復習を進めていく。実施する確認テストは、CRTや全学調、県学調の分析から児童が苦手とする分野の類似問題を出題する。問題は、復習シート、コバトン問題集などを参考に担任外の職員が分担して作成している。

エ 家庭との連携強化

家庭学習や読書の習慣化が学校評価（保護者）での課題であった。このため、全学年の懇談会で、それぞれの家庭での取組や工夫について保護者同士が情報共有できるよう小グループによる話し合いを実施している。



杉戸町立泉小学校の取組

1 本校の概要

本校は杉戸町の東部に位置し、開校 54 年目を迎える。全校児童数 116 名、学級数 8 の小規模校である。学校教育目標「心豊かで たくましい子」のもと、「いつも元気で すすんで学び みんなにやさしい いずみの子」を合言葉に、全教職員が一丸となり教育活動に取り組んでいる。昨年度からの研究課題を「自ら進んで学びに向かう児童の育成」と設定し、算数科を主としてユニバーサルデザインを視点とした授業研究を中心に学力向上を進めている。

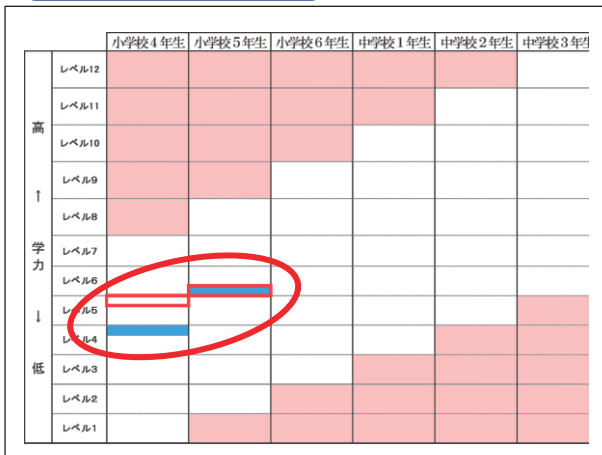


2 令和 3・4 年度の結果

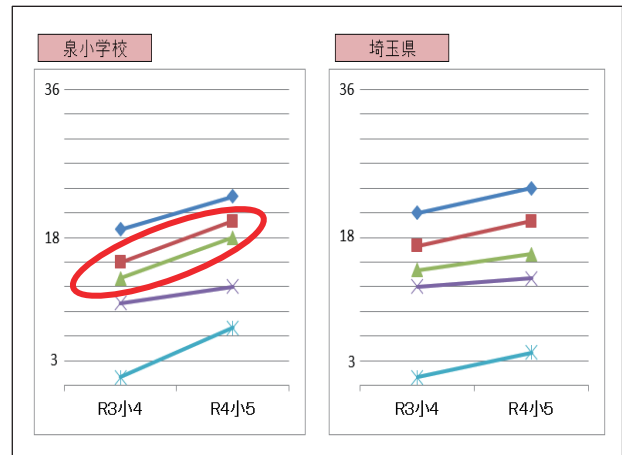
小学校 4 年生→小学校 5 年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【算数】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 小4から小5にかけて、学力のレベルが4上昇し、県平均の伸びを上回っている。
- 学力の伸びは、全ての層で順調に伸びている。特に、中位層の伸びが大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア T T (ティーム・ティーチング) 及び少人数指導

算数の学習は、3年生から原則TTで授業を展開している。T1・T2は、単元の特性や児童の実態を考慮しながら役割を分担し、主にT2が個別指導にあたり、児童一人一人の習熟度を高めている。単元の内容や学習場面によっては少人数指導も行っている。小規模であるという利点を生かし、個別指導の時間を十分に確保し、充実させている。

また、授業の終末には学習に対する振り返りを「算数日記」として書き、素直に自己評価すると共に、日常生活との接続を意識させている。また、その日記に対する教師の称賛や励まし、アドバイスで、学級全体の学びの質の向上を図っている。

イ ICTの活用

自力解決した学びの過程を児童のタブレット端末から教師へ送信させ、学級全員が共有できるように大画面で提示しながら説明させている。個とグループ等(集団)での学びを連動させ、学習内容の理解を深めることで、最終的には個の学びの質を高められるよう取り組んでいる。

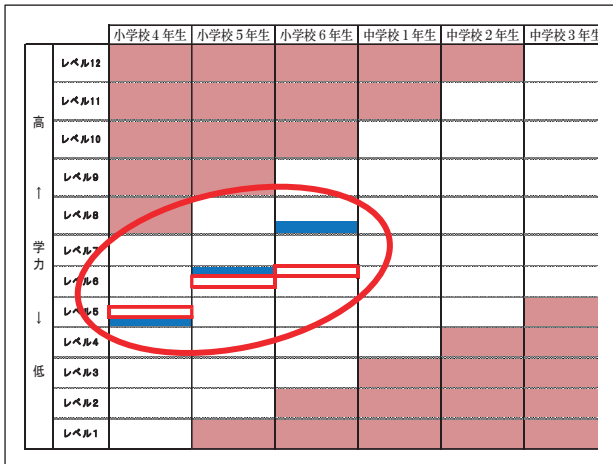
また、宿題等の家庭での学習課題を一斉配信し、内容によってはオンラインでの提出を行い、その日のうちに採点や評価を行っている。誤答の多い部分については、翌日に指導したり、別の練習問題に取り組ませたりしながら、児童の「できた」体験を重視した学びの充実を図っている。



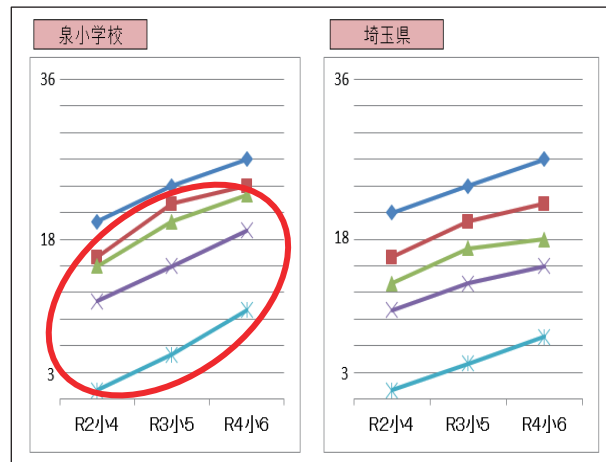
小学校5年生→小学校6年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【算数】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 小4から小6にかけて、それぞれ学力のレベルが5～4上昇し、県平均の伸びを上回っている。
- 学力の伸びは、全ての層で順調に伸びている。特に、中位層から下位層の伸びが大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア T T (ティーム・ティーチング) 及び少人数指導

第6学年も第5学年と同様にT Tや少人数指導で授業を行い、習熟度を高めている。当該学年児童はT Tや少人数指導で、個別指導を丁寧に着実に取り組んできた3年間の積み重ねが本年度の成果として表れている。小規模の利点を生かし、児童の実態に即した個別指導を積み重ねることで児童の学習への自信が付き、学力向上に結び付いた。

また、“振り返り”の視点を明確にすることで、学級全体が同じ方向で学習に向き合い、同じ歩調で学びを積み重ねることができている。

イ 計算ドリル、練習問題を活用した教師の丁寧な見取り

計算ドリルや練習問題は、教師が支援をしながら児童一人一人が最後まで自力で解決できるよう繰り返し取り組んでいる。未実施や未提出がないように確認しながら、教師が最後まで丁寧に指導を積み重ねることで、習熟度を高めた。

また、隙間時間を利用してICTを活用した練習問題にも取り組むことで、学びに対する興味・関心や自信の向上を目指している。

振り返りの視点	
わかったこと	できるようになったこと
友だちの考えをきいて思ったこと	次に考えてみたいこと

学校全体での取組

ア 授業スタンダードの実践

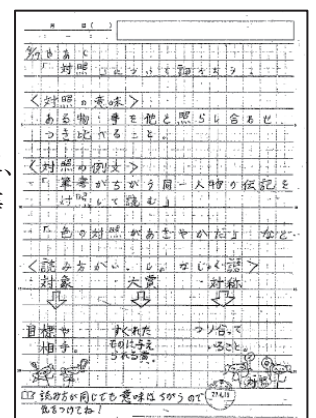
杉戸町では主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善へとつなげるために、“杉戸町授業スタンダード”を策定した。本校においても全ての学年・全ての教科等で、このスタンダードをベースとした授業を展開し、学びの充実に取り組んでいる。

イ スキルアップタイムの実施

週3回、業前の時間15分間を利用して練習問題やミニテスト等を行っている。毎学期末には“計算ドリル検定”を実施し、全員100点を目指して取り組んでいる。

ウ 家庭学習(自主学習)の充実

家庭学習(自主学習)を充実させるために、「家庭学習事例集」を全家庭に配布している。学年ごとに、すばらしい取組をしている児童のノートをコメント入りで紹介し、児童の意欲の向上と共に保護者への啓発を図っている。





桶川市立桶川東中学校の取組

1 本校の概要

本校は桶川市の東部に位置し、開校 52 周年目を迎えた、全校生徒数は 409 人、学級数 12 の中規模校である。

学校教育目標「明るいあいさつ、輝くひとみ、みなぎる力」のもと、全教職員が丸となって教育活動に取り組んでいる。令和元年度からの研究課題を「『できた、わかった、楽しい』を味わわせる学習指導の質的改善 ～主体的・対話的で深い学びを通して～」と設定し、授業研究を中心に進めている。

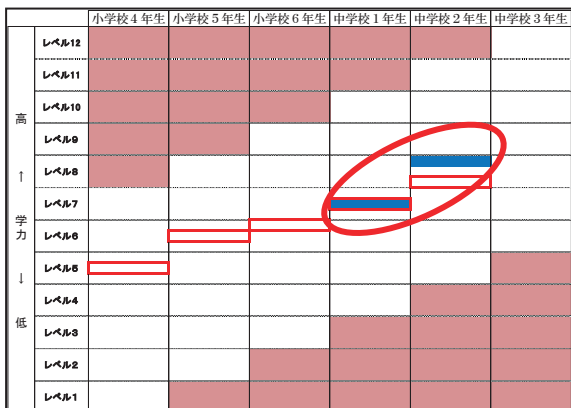


2 令和 3・4 年度の結果

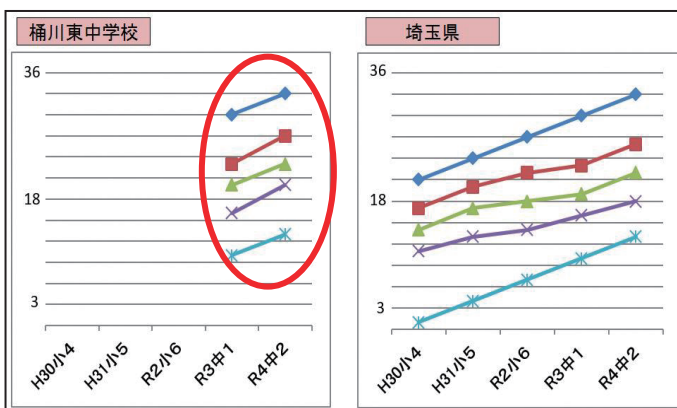
中学校 1 年生→中学校 2 年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【数学】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 1 学年時は県平均と同等であった学力のレベルが 2 学年で 4 上昇し、県平均の伸びを上回った。
- 上位層、中位層、下位層いずれの層も学力を伸ばしている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 深い学びを意識した教材

単に答えを求めるだけではなく、「なぜその式を立てるのか」「なぜその答えにたどり着くのか」を大事にしながら取り組んでいる。教員が表面的な知識及び技能を問う問題だけでなく、思考力、判断力、表現力等を深める発展問題を提示することで、生徒に既存の知識を活用して考える習慣が身に付き、学力の向上につながったと考えられる。

イ 知識・技能を定着させる時間の充実

基本的な知識及び技能を身に付けるために、じっくりと演習問題に取り組む時間を確保した。授業の流れを、①「全体で教科書の問題に取り組む」②「類題を集めた演習プリントに取り組む」③「定着が図られた生徒は、さらに発展問題に挑戦する」という型で展開させている。この基本的な流れがあることで、生徒が「次に何をするのか」を理解した状態で授業に臨んでいる。また、理解が難しい問題があった場合は、近くの生徒同士で教え合いや教師による机間指導で個別指導を行っている。

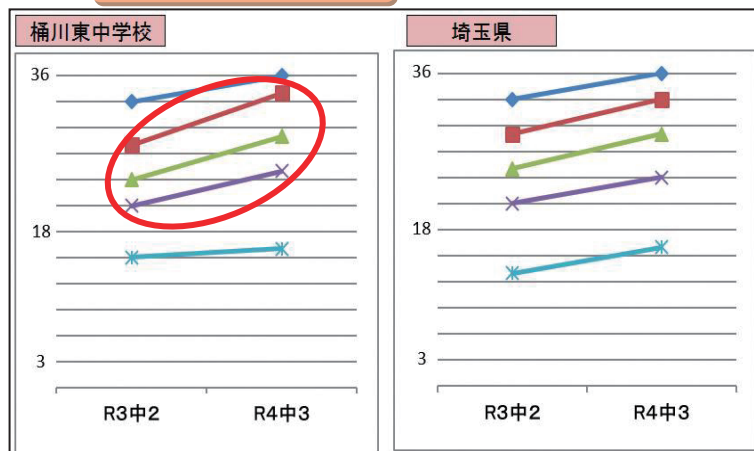
中学校2年生→中学校3年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【英語】

今までの学力の変化

	中学校2年生	中学校3年生
レベル12		
レベル11		
レベル10		
レベル9		
レベル8		
レベル7		
レベル6		
レベル5		
レベル4		
レベル3		
レベル2		
レベル1		

学力の伸びの状況



- 2学年から3学年にかけて、学力のレベルが4上昇し、県平均の伸びを上回った。
- 上位層、中位層が学力を伸ばしている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 基礎・基本の定着を図る活動

帯活動として既習事項の基本本文の Input 活動を行っている。繰り返し練習を行うことで、基礎・基本の定着を図った。課題解決を目指したペア活動にすることで主体的に学習に取り組む意欲を高めることができたと考えられる。

イ 自己表現活動の場面設定

教科書本文の内容理解を行った後、自分の言葉で内容を伝え、さらに自分の考えや気持ちを表現する活動を行っている。話すことと聞くことから書く活動へつなげることで技能統合型の学習をすることができ、「英語で伝えることができた」という表現力の向上につなげる事ができた。

学校全体での取組

ア 学校課題研究の取組

本校では、「何をどう学ぶのか」「何ができるようになるか」を考えることを、授業をデザインするというキーワードを使い、全教科で実施することとした。その際に、NITS が示したピクトグラムを活用して教員も生徒も学習の見通しや、3つの学び（主体的な学び・対話的な学び・深い学び）をイメージ化できるようにした。



独立行政法人教職員支援機構 (NITS) HP より

イ チャレンジテストの実施

学校課題研究「学習環境部」の取組の一つとして、学力向上を目指し基礎的な内容の定着を図る目的で定期的に、朝学習の時間（10分間）に5教科のテストを実施している。

基礎的な内容のテストを実施するとともに、家庭学習について指導し、多くの生徒がこの取組を通して学習意欲を高め、達成感を味わえるようにしている。また、学級で学習に意欲的に取り組む雰囲気をつくり、学校全体で学力向上を図っている。



川越市立城南中学校の取組

1 本校の概要

本校は、近年再開発されつつある川越駅西口周辺からウエスタ川越を含む川越市中心部の市街地に位置していて、国道16号や川越所沢線が走り、交通の利便性も高い地域である。また、台地の外れにあり、校舎の窓からは、遠くスカイツリーや秩父山地、富士山も望むことができる。川越第四中学校として開校して76年目を迎え、18学級587名の市内で一番大規模な学校である。生徒たちは、「絆をつよめ 共に高め合う 心豊かな生徒」を学校教育目標として、今年度は、「心・眼・体に向けて」をキャッチフレーズに日々の授業はもとより、学校行事や部活動にも活発に取り組んでいる。来年度からのコミュニティースクール移行をふまえ、生徒は良き伝統を受け継ぎ、地域との交流も深めながら学校生活を送っている。

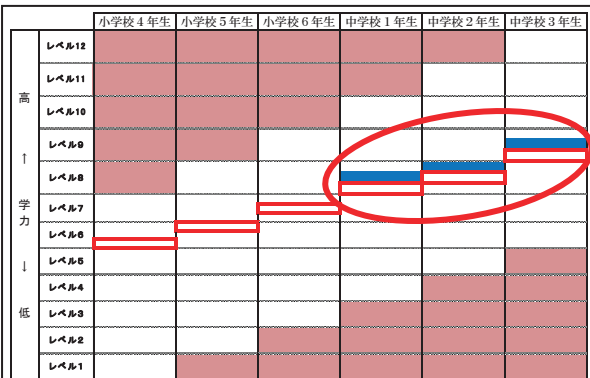


2 令和3・4年度の結果

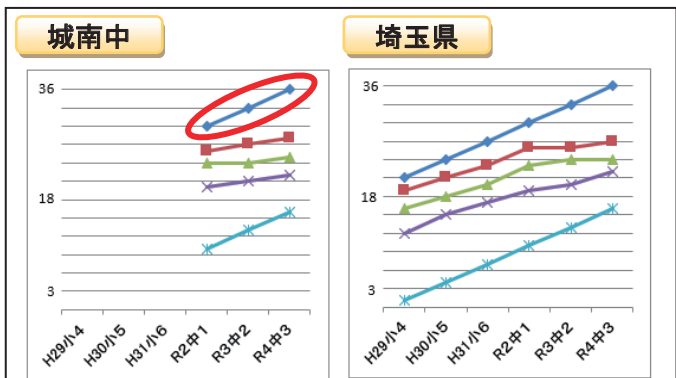
中学校1年生→中学校3年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【国語】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 上位層は県平均と同様の伸び率を維持し、6段階高くなっている。
- 中間層では、県平均より高い伸び率を維持し、中1～中3まで着実に高くなっている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 3学年共通で行っている継続的な漢字練習

- ・ 毎時間、はじめの5分間は漢字ドリルを用いて漢字練習→小テストを実施している。年度当初の教科部会において、全学年で共通の教材を選択し、3年間を見通した授業展開を計画している。
- ・ 小テストにて満点を取れる生徒に対しては、さらに別の熟語練習を実施している。
- ・ 短時間でも継続することで、習熟度に関わらず確実に習得できるよう取り組んでいる。また、漢字練習や小テストの時間に机間指導を行うことで、学習支援の機会を増やしている。

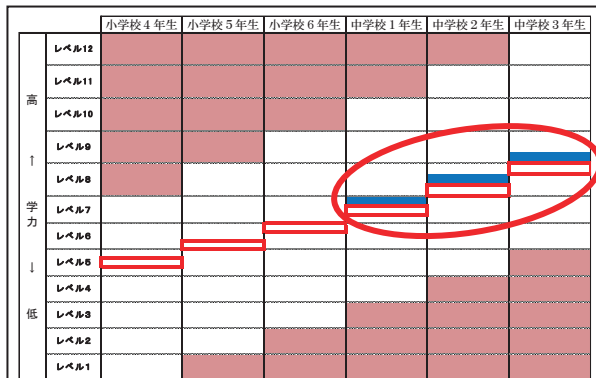
イ 4人組で行う活発なグループワーク

- ・ 日頃から4人単位で話し合い、自分の意見を伝えやすい人間関係や環境づくりの機会を増やすことで、活発な意見交換が実現している。この言語活動については、国語科だけの取組ではなく英語や理科等の授業でも同様に機会を増やしている。
- ・ グループワーク後は全体で共有する時間を設けて、個々がさらに広い視野を取り入れられるよう取り組んでいる。最近ではICT機器を活用して全体共有する場面も増えてきている。

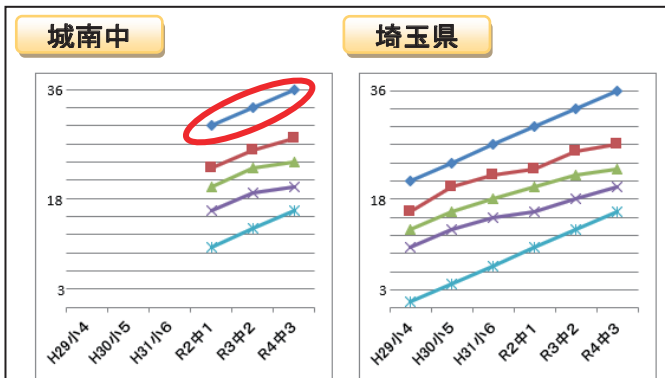
中学校 1 年生→中学校 3 年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【数学】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 上位層は県平均と同様の伸び率を維持し、6段階高くなっている。
- 中間層では、県平均より高い伸び率を維持し、中1～中3まで着実に高くなっている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 主に授業時間に行っている取組

- ・「今までとどこが違うのか」「今まで習ったことを使うと…」という2つの視点を授業中にもたせ、既習内容の積み重ねを意識させることで常に考える姿勢を持つ機会を増やしている。
- ・授業の中で伝え合う活動を多く取り入れて、知識の習得のみならず、学んだ知識を自他で共有し、活用する方法をそれぞれが工夫する過程を通して学習内容の定着を図っている。
- ・解き方について、どのように考えたのか思考の流れを説明する時間を設けている。また、別の解法を探す時間を設けることもある。
- ・板書方法の工夫として、ノートの右側にメモ欄を設けて、一方的に授業を聞くことに留まらず、授業中の気付き等を書き留められるよう指導している。これにより授業の振り返りが行いやすく、授業時間外（主に授業後の休み時間）に教員へ質問する生徒が増えてきている。
- ・定期試験後に解き直しを実施し、個々の理解度に合わせた取組を通して、個別指導の充実を図っている。
- ・発展的な問題や入試問題に挑戦する機会を増やすことで、自己の学習の振り返りを行っている。また、1、2年生の既習内容の確認や復習も兼ねている。
- ・演習の時間には単に問題集に取り組ませるのではなく、自分に合った内容や難易度を選択できるよう工夫している。

学校全体での取組

ア 「川越授業スタンダード」の深化（学力向上＝授業改善×学級づくり）

- ・「めあて」「見通し」「学び合い」「まとめ」「振り返り」の流れを定着させるとともに、「主体的・対話的・協働的な学び」を実現する手立て、活動を大切にする。特に1時間の「めあて」「まとめ」をはっきりさせることで、習熟度や理解度に関わらず全員が本時で学ぶこと、学んだことへの意識を共有している。全教室に共通マグネットカードと大型デジタルタイマーを設置している。

イ 信頼関係の構築

- ・生徒の3分前着席と同様に、教員も授業開始3分前には教室等にて待機している。その時間が、休み時間中の自然な質疑応答につながり、授業への関心・意欲や互いの信頼関係の基盤となっている。一人一人を大切にするすることで、安心して発言ができ、学び合える雰囲気を作り出している。



深谷市立川本中学校の取組

1 本校の概要

本校は、深谷市内を流れる荒川沿いに位置し、豊かな自然に囲まれた学校である。全校生徒数 285 人、学級数 11 学級の中規模校である。学校教育目標「自ら学ぶ意欲と、豊かな心を持ち、主体的に行動できる、たくましい生徒の育成」のもと、「チーム川本中」を掲げて組織的に教育活動に取り組んでいる。本年度重点指導の項目の1つとして、「知的好奇心を高め、学力の向上を目指す」を設定し、授業研究を重ねたり、朝学習を取り入れたりして学力向上の推進を図っている。



2 令和3・4年度の結果

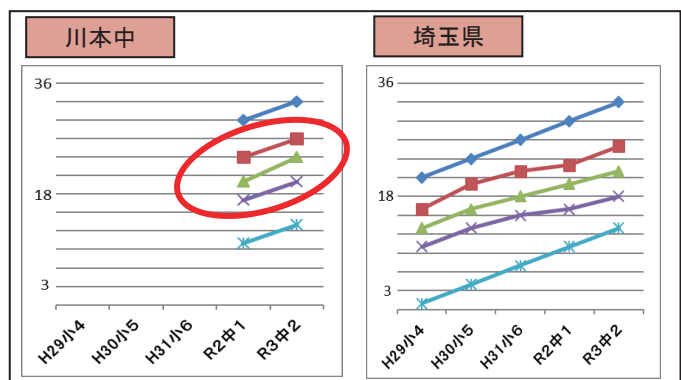
中学校1年生→中学校2年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【数学】

今までの学力の変化

	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	中学校1年生	中学校2年生	中学校3年生
高	レベル12					
	レベル11					
中	レベル10					
	レベル9					
学	レベル8					
	レベル7					
力	レベル6					
	レベル5					
低	レベル4					
	レベル3					
	レベル2					
	レベル1					

学力の伸びの状況



- 学力の伸びが県平均を上回るとともに、中位層の伸びが大きい。
- 学力を伸ばした生徒の割合が 76.8%で、全体的に学力を伸ばすことができている。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 本時の学習目標とまとめを提示

各教室に「学習目標」と「まとめ」のカードを準備し、各授業で活用できるよう工夫した。本時の目標を毎時間板書し、その目標をノートや評価カードに記入する習慣をつけ、授業の目標を明確にするとともに、授業の見通しが立てられるようにした。また何を学んだのかがわかり、授業の最後に振り返りができるようにポイントをまとめた。

イ 自力解決・練習問題の時間の確保

課題に取り組む時には、自分でじっくり考える時間を確保した。その間、机間指導を通して評価や助言をし、自分の考えに自信をもたせたり、少しでも意欲的に取り組めるよう促した。また、演習を通して学力が定着するよう練習問題に効率的に取り組めるようにした。授業の始めの5分間に復習問題を解く、宿題を定期的に課す、家庭学習用のプリントを廊下に置いておくなどして、機会をとらえて練習問題に取り組む時間を与えた。

ウ 定期テスト前の補習時間の設定

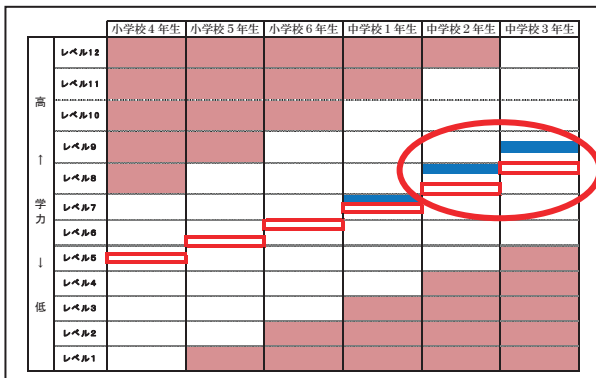
定期テスト前の部活動中止の期間に、自主的に学習したり、わからないところを質問したりする時間を設定した。先生に質問しやすい雰囲気を作るとともに、生徒同士で互いに学び合い、学習に向かう士気を高めた。



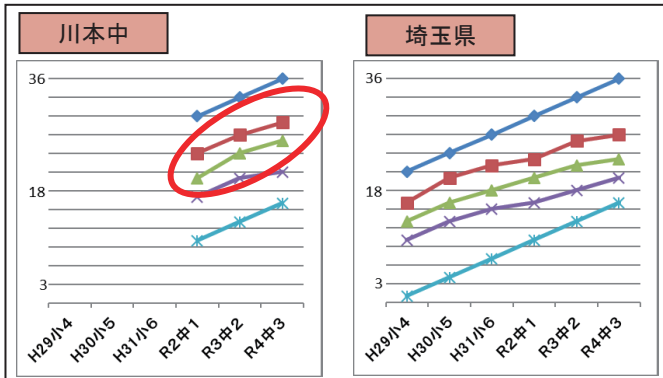
中学校 2 年生→中学校 3 年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【数学】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 学力のレベルや学力を伸ばした生徒の割合ともに県平均を上回っている。
- 中上位層の学力の伸びが特に大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 仲間と学び合う活動を意識した授業

自分の考えが書けた生徒には、全体で分かりやすく説明や発表することを意識させた。また、まだ理解できていない生徒に対して考え方や解き方を伝えるよう指示し、生徒同士が互いに学び合えるような時間を設けた。低位の生徒も質問しやすい状況になるとともに、上位の生徒は考え方を伝えることの難しさを感じたり、より理解を深めたりしている。



イ 基礎的・基本的事項の徹底を図るための朝学習の活用

川本中学校では、朝の 10 分間を週 3 回、朝学習の日としている。数学は毎週水曜日と設定しており、そこで基礎的・基本的な内容を繰り返し復習した。前週の朝学習で取り組んだ内容について、次週テストを実施し確認させた。また、テストで基準に達しなかった生徒には補習を設け、個別指導を行った。

ウ 生徒主体の委員会の取組

学級委員を母体とした学年委員会で、常に授業や家庭学習に対する取組を実施してきた。家庭学習を皆で取り組むための方策や、基礎的な知識を身に付けられる方法を考案し実行してきた。例えば、帰りの会で週 1 回各教科の小テストを実施し、全問正解の枚数をクラスで競うなどの取組を実施した。

学校全体での取組

ア 朝学習の取組

前述のように、川本中では週 3 回を朝学習に当てている。月曜日が英語、水曜日が数学、金曜日が国語とし、全校でこの取組を行っている。特に国語に関しては、月 1 回校内漢字検定を設定し、その合格を全校で目指している。そのような取組が他の教科にも波及し、数学や英語も学年ごとの取組ではあるが合格できるよう努力する生徒が多い。

イ 学習規律の確立

各教室の前壁には「川中授業の約束」が掲示してあり、学習規律が確立できるよう意識付けをしている。チャイムで授業が開始できる雰囲気があり、落ち着いた教室の中で授業が実施できている。

川中授業の約束

一 時間で準備、着席
二 腰骨を立て授業に集中
三 聴いて、考え、発表



春日部市立葛飾中学校の取組

1 本校の概要

本校は、全校生徒 523 人、学級数 17 学級の中規模校である。学校教育目標「自ら考え実行する生徒」のもと、「学力を高める」「心身を鍛える」「進んで働く」「物を大切にする」生徒の育成を目指し、教育活動に取り組んでいる。また、研究課題を「主体的、協働的に学ぶことがうれしい授業づくり」とし、単に「楽しい」で終わらず、「分かる」「できる」が「うれしい」授業づくりに、全教職員を挙げて取り組んでいる。

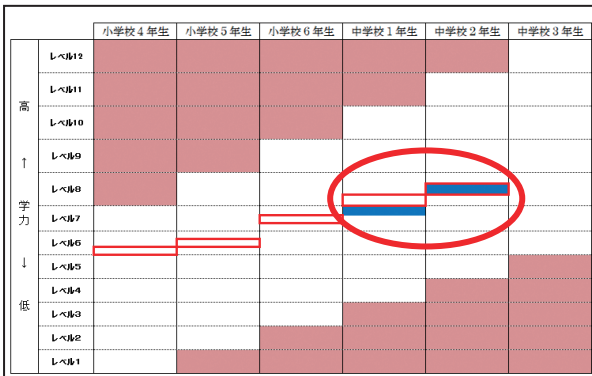


2 令和3・4年度の結果

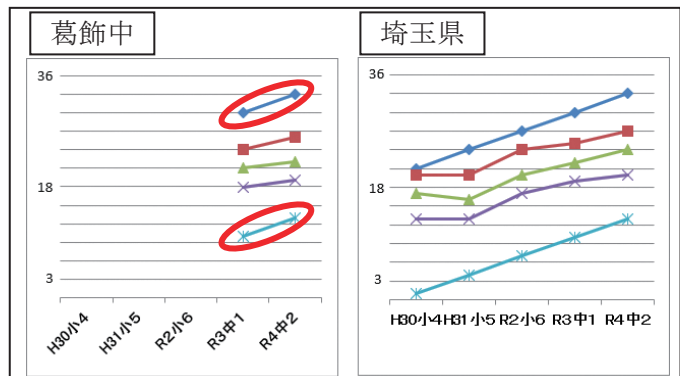
中学校1年生→中学校2年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【国語】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 学力の伸びが、県平均を上回っている。
- 学力を伸ばした生徒の割合が 72.4%と高く、特に上位層の伸びが大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 自己学習から始まる授業

毎時間の開始前に新出漢字の練習プリントを配布し、各自が漢字練習に取り組みながら授業を開始している。各自が自分の課題と向き合いながら、落ち着いた雰囲気の中で授業を開始することができる。また、5回毎に小テストを行い、スモールステップでの達成感を味わわせ、国語の授業に対する意欲を引き出している。

イ 小グループでの学び合い活動

毎回の授業時に、3～4人の小グループでの学び合い活動を取り入れている。「自力解決 → 小グループでの学び合い → 全体での交流」の流れを基本とし、各ステップで深い学びができるよう課題を設定している。黒板等で生徒に考えを書かせる場面では、難易度が様々な問題を用意し、誰もが前に出て、発表しやすい雰囲気を作っている。また、音読等の練習も少人数で行うことで、学び合いやすい人間関係を醸成している。

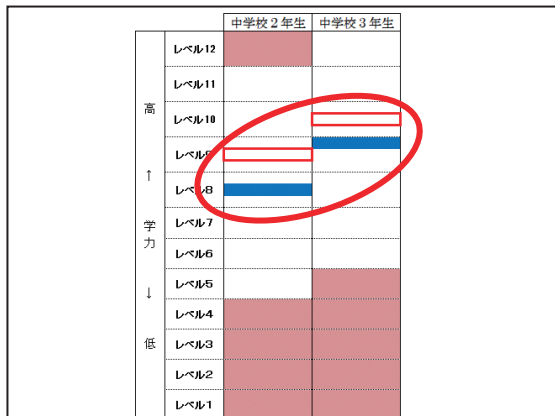
ウ 単元の振り返りの工夫

単元の振り返りの際には、その単元で学んだことを 200 字程度の文章にまとめさせている。自分の生活と関わらせながら文章を書くことで、単元を振り返りながら自己を表現する場としている。生徒が個人で書いた文章は、互いに発表し合うなど、他者のよさに学ぶ機会も設けている。

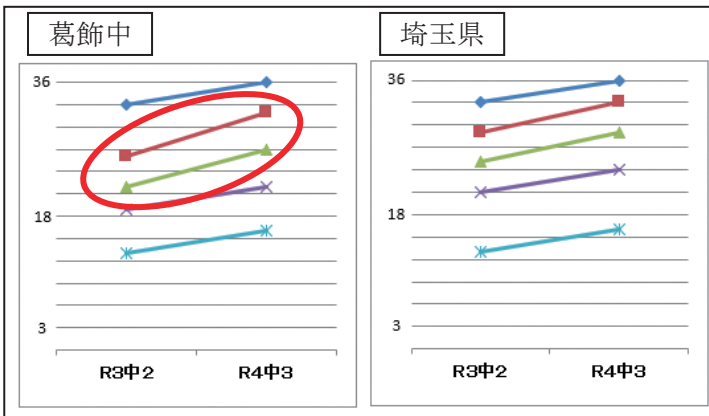
中学校2年生→中学校3年生の取組

(1) 学力の伸びから見られる特徴【英語】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 学力の伸びが、県平均を上回っている。
- 学力を伸ばした生徒の割合が 88.1%と高く、特に中位層での伸びが大きい。

(2) 伸びを引き出した効果的な取組

ア 単元内の流れを統一した指導計画の作成

各単元の授業を計画する際、全単元が同じ流れで進むように計画をしている。「文法事項 → 教科書本文の内容 → 文法の小テスト → 英作文 → コミュニケーション活動 → 単元テスト」の流れを全単元で統一することで、生徒たちにも学習の見通しをもちやすくさせている。今、何を学んでいるか、次に何をやるかを生徒に提示することで学習への意欲が高まった。英作文を書く活動においても既習事項を活用して書く生徒の姿が多く見られた。

イ テスト後の振り返りと評価の充実

定期テストの返却後に、学び直しをする期間を設けた後、全生徒に再テストを実施している。再テストがあることで、テスト返却後の振り返りが充実するようになった。分からなかった部分を確認したり、自分の得意や苦手と向き合ったりする姿が見られている。また、2回のテストのうち、1回目は fluency（流暢さ）を重視、2回目は accuracy（正確さ）を重視した採点をすることで、異なる観点から生徒を評価し、その後の指導計画に反映させることができている。

学校全体での取組

ア 「葛中5つの授業規律」の策定

「学ぶことがうれしい授業」をするために、生徒が最低限守るべき授業のルールを明確化し、全校で取り組んでいる。継続の結果、授業規律が確立し、集中して学べる環境が整った。

イ ICTの活用に関わる校内研修の充実

各教科・領域において、ICT機器の効果的活用を促進するために、計画的な校内研修を行っている。各学年・教科での取組を共有したり、導入された学習支援ソフトの活用方法を周知したりと、年度を越えた取組を継続している。結果として全学年・教科において、授業におけるICT機器の積極的な活用が促進されている。生徒の意欲を引き出し、対話や深い思考を促すためのツールの1つとして、各教員がICT機器の活用を選択しやすい環境が整ってきている。

葛中5つの授業規律

- 1 あいさつをしっかりする
- 2 チャイム前着席を守る
- 3 人の話をしっかり聞き
しっかり発表する
- 4 授業の学習に集中する
- 5 忘れ物をしない

第5章

学習指導のポイント

実際に出題した調査問題をもとに、児童生徒の解答状況や各種分析、学習指導のポイントをまとめました。

各学校において授業改善の参考にお役立てください。



○ 調査問題

19 酒田さんのクラスでは身の回りの植物や生き物を観察しました。次は、ホウセンカについて【酒田さんが書いた観察カード】と、友人の山本さんが【酒田さんが書いた観察カード】を読んで疑問に思ったことを書いた【山本さんのメモ】です。あなたなら、【山本さんのメモ】の「ア」の中でどれについて調べたいですか。また、どんな方法で調べますか。調べたいメモの記号と、調べる方法を、あとの〈注意〉に合うように書きましょう。

【酒田さんが書いた観察カード】

九月十六日
葉がかれてきて、くきはのびなくなりました。そして、花がさいていたところに実ができていました。実の中にはたくさん種の種が入っています。実をさわってみると、はじめて種がとびちりました。

【山本さんのメモ】

ア
どのような花がさいていたのか。

イ
実のはじける植物は他にもあるのか。

ウ
1つの実に種がいくつ入っているのか。

〈注意〉
1 二段落で、三行以上、五行以内で書くこと。
2 一段落目には、【山本さんのメモ】の「ア」の中から、あなたが調べたいメモの記号を一つえらんで書くこと。
3 二段落目には、そのメモについて調べる方法を書くこと。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 選んだ内容とそれについて調べる方法を二段落構成で書く。

【出題の趣旨】 目的に沿って適切な方法を書く。

○ 誤答分析

解答類型	①正答	2 段落の誤答	3 形式不備 の誤答	4 調べる方法 が不適切	9 2 3 4の 複合	0 無解答
反応率	17.0%	11.0%	0.6%	2.1%	33.7%	35.6%

- 正答率は17%であった。
- 正しく文章を構成することができていない解答が見られた。選んだ内容と調べる方法を二段落構成で書くという指示が読み取れず、条件を満たすことができなかつたと考えられる。
- 内容・形式が不十分であったり無回答であったりする解答が多いことから、条件に従い、目的に沿って適切な方法で表現する力を育むための指導が必要である。

○ 指導上のポイント

目的に沿って適切な方法で表現する力を育むための指導

<学習活動例> 目的を意識して表現する活動

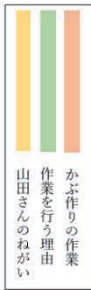
①資料を読み、条件付きで文章を書く。



農家の山田さんの話をまとめた文章を読んで、学んだことを書きます。
一段落目にかぶ作りについて分かったこと、二段落目に思ったことを書きましょう。

ヒント

大切な所（条件に合うところ）に線を引くように声かけをしてみましょう。
自分の考えをまとめる手助けになります。



かぶ作りの作業
作業を行う理由
山田さんのねがひ

（引用）令和元年度 国語「話すこと（聞くこと）」より

山田さんの話
わたしの畑では、春と秋の年に二回かぶを作っています。たねをまく前に、トラクタ
ーを使って畑の土をやわらかくしますが、そのときに、ひりょうをまいて、え
いようがたつぷり入った土を作ります。これは、おいしい野菜を作るためにも大
切なことなのです。
たねは、たねまききという道具を使っています。この道具を使うと速く、まっす
くきれいにまくことができます。葉が育ってきたら、病気や虫をふせぐために、うす
めた薬をまきます。薬をうすめるのは、なぜだか分かりませんが、安全な野菜を作るた
めです。
四十日ほどかぶは育ち、しゅうかくできます。しゅうかくしたかぶは、きれいに
洗い、テープでまとめ、ダンボールにつめます。みなさんに安全でおいしい野菜をど
けるため、いっしょうけんめい育てています。みなさん、野菜をのこさず食べてく
ださいね。

記入例

思ったこと			分かったこと		
た	知	わ	が	た	か
い	り	た	あ	ね	ぶ
と	、	の	る	ま	を
思	野	は	こ	き	そ
い	菜	、	と	・	だ
ま	を	か	が	菜	て
し	の	ぶ	分	ま	る
	こ	作	か	き	た
	さ	り	り	・	め
	さ	の	ま	し	に
	ず	業	し	ゆ	は
	に	の	ゆ	う	、
	食	作	か	か	土
	べ	業	く	く	を
	ら	の	の	の	た
	れ	た	四	の	が
	る	い	つ	の	や
	よ	へ	の	作	す
	う	ん	作	業	・
	よ	さ	業		
	う	さ			
	に	を			
	し				

ポイント

条件を設定した表現活動を、他教科での
振り返りの場面等でも行ってみましょう。
【例】今日の授業で分かったことを「太陽の位置」という
言葉を使って書きましよう。（理科の授業）

②自分の考えを友達の発表に関連付けて伝える。

わたしは、Aさんと
〇〇〇の部分
似ていて、〜〜が
いいと思います。



主眼的、対話的で、
深い学びの視点。
コバトン



わたしは、Bさん
と〇〇〇の部分
ちがって、〜〜が
いいと思います。



重要! これらの活動を教科横断的に行ったり、日常生活の中で教師が意識的に取り入れたりして、児童に力を付けていきましょう。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【R4】復習シート 小学校4年 国語（書くこと）

6行	8行						

（注意）
1 二段落、五行以上、六行以内で書くこと。
2 二段落目には、連なりたいと思つた並びの名前をメモの箇条の中
から文で書くこと。
3 二段落目には、えらんだ理由を書くこと。

①くむしゲーム
①二十メートルほどはなれた場所につつ田をかく。
②一人のオニは、子（オニがい）を決める。
③二人のオニは、子（オニがい）を決めてボールを投げ合う。子はオニが投げるボールをよけ
ながら、はなれた田の間を歩きまわす（おうふく）する。
④ボールに当たらずに「おうふくしたら」「いちむし」「二おうふくしたら」「む
し」・「とたり」まで行けば子の勝ちとなる。

②聞き取りゲーム
①四人五名程度のグループになり、聞き取り役を一人と言葉をつづらぬ人（オニ）に分ける。
②言葉をつづらぬ人（オニ）は、聞き取り役を二人と言葉をつづらぬ人（オニ）に分ける。
③言葉をつづらぬ人（オニ）は、聞き取り役を一人と言葉をつづらぬ人（オニ）に分ける。
④言葉をつづらぬ人（オニ）は、聞き取り役を二人と言葉をつづらぬ人（オニ）に分ける。
⑤言葉をつづらぬ人（オニ）は、聞き取り役を一人と言葉をつづらぬ人（オニ）に分ける。

③復習シート「ゲーム」
①まず集まった人（青組）・赤組・白組の三つに分ける。
②（色は何色でもよい）人数によっては、チームの数をかきすこともできる。
③青は赤から投げ、赤は白から投げ、白は青から投げ、タツチをされたら、その
④決められた時間をたたく。相手をつかまえた数よりも多かったチームが勝
つことになる。

【R4】復習シート 小学校4年 国語（書くこと）

「書くこと」の問題
① Aさんは、国語の学習でいろいろな遊びについて調べ、そのルールについてまとめた
した。メモの中から、あなたが遊んでみたいものをらび、（注意）をもちま
書きましよう。

復習シート 第四学年 国語
組 番号 名前

【出典】R4
復習シート
【小学4年生】
書くこと
レベル7



○ 調査問題

6

1
夕方
2
駅前
3
ピアノの
4
先生に
会った。

次の文の……線部の言葉がくわしくしている言葉を、1～4の中から一つ選びましょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 被修飾語を選択する。

【出題の主旨】 修飾・被修飾の関係を理解する。

○ 誤答分析

解答類型	①正答 4と解答	2 1と解答	3 2と解答	4 3と解答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	34.4%	25.5%	14.6%	23.4%	0.2%	1.9%

- 正答率は34.4%であった。問題文の「くわしくする言葉（修飾語）」とは、主語と述語に係る言葉であることを理解していることが大切である。
- 主な誤答は、「夕方」であった。理由としては問題文の「言葉がくわしく」を「言葉をくわしく」と誤って理解し、直前に書かれた「夕方」を選んだということが考えられる。次に多かった誤答は、「先生に」であった。理由としては、「先生に」を被修飾語の主語と誤って理解し、選択したと考えられる。
- 「どんな」や「どのように」の他に「どこで」も修飾語であることを十分理解することができるよう、読む学習と結び付けて指導する。

○ 指導上のポイント

修飾語・被修飾語の効果を考えながら読みを深める指導



<学習活動例>

4年生教材「ごんぎつね」で、登場人物の性格を捉える学習で修飾語・被修飾語を取り上げる。



「ごんぎつね」の5の場面からごんの性格が分かる文を紹介しましょう。登場人物の行動や会話などから、修飾語に注目しながら発表しましょう。

○紹介の仕方の例

「～」という文から、ごんは〇〇なきつねだと思いました。理由は「〇〇」という修飾語があり、そこからごんの〇〇が考えられるからです。



わたしは「ごんは、お念仏がすむまで、井戸のそばにしゃがんでいました。」という文から、はずかしがり屋なきつねだと思いました。理由は「井戸のそばにしゃがんでいました。」とあり、かくれながら兵十を待っていたのだと思ったからです。

ぼくは「ごんは、二人の話を聞こうと思って、ついていきました。兵十のかげぼうしをふみふみ行きました。」という文から、ごんは陽気なきつねだと思いました。理由は「ふみふみ」が「行きました」をくわしくしていて、楽しんでいる様子が伝わったからです。



いろいろな会話や行動をもとに、ごんの性格を思い描くことができましたね。また、修飾語に注目すると、より深く思い描くことができることにも気が付きましたね。

☆読む学習と関連させて、「どこ」「どのように」などの修飾語と結び付けて考えさせます。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【R3】 復習シート 小学校5年 国語(言葉)

- 【修飾と被修飾の関係を正しく理解する問題】
- ① 次の文の一部の言葉が、くわしくしている言葉を①～④の中から選びましょう。
- (1) 青い ① ぼうしの ② 男の子は ③ 私の ④ 弟です。
- (2) ぼくは ① 今朝 ② 公園を ③ 父と ④ 走った。
- (3) たぶん ① 明日の ② テストは ③ 百点が ④ 取れるだろう。

レベル8
レベル8
レベル7

組
番号
名前

復習シート 第五学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査(小学校)

【出典】R3 復習シート
【小学5年生】言葉
レベル7・8



○ 調査問題

8

次の文の——線部の意味と同じ使い方のものを、あとの1〜4の中から一つ選びましょう。
足]を止めてよく観察する。

- 1 いすの足は四本だ。
- 2 台風で乗客の足がうばわれる。
- 3 出費がかさんで足が出てしまった。
- 4 すく疲れるのは足が衰えたせいだ。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 いろいろな意味を持つ漢字の中で同じ意味で使われている言葉を選択する。
 【出題の趣旨】 多義語について異なる意味を理解する。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 4と解答	2 2と解答	3 3と解答	4 1と解答	9 その他の 解答	0 無解答
反応率	51.9%	27.1%	12.8%	7.2%	0.0%	1.0%

- 正答率は51.9%であった。多義語について異なる意味を理解することに加え、話や文章の中で使える語句を増やし、語彙の質を高めることが求められる。
- 主な誤答は、2「台風で乗客の足がうばわれる。」であった。理由としては、問題文「足を止める」は、「立ち止まる」という意味であることから、2の意味「交通機関を使えなくなる」を「動けなくなる」と捉え、選択したと考えられる。1と3は人間の足ではないことから、2の誤答が多くなったと考えられる。
- 語彙の質を高めるには、多くの文章を繰り返し読んで優れた表現に触れたり、自分の表現に生かしたりして、語感や言葉の使い方に関する感覚を養うことが重要である。

○ 指導上のポイント

語感や言葉の使い方に関する感覚を養う指導

語感や言葉の使い方に関する感覚とは…言葉や文、文章について、その正しさや適切さを判断したり、美しさ、柔らかさ、リズムなどを感じ取ったりする感覚のことである。

<学習活動例> 特によいと感じた表現を引用し、辞書的な意味と前後の文脈での使われ方に着目させ、語感や言葉の使い方に関する感覚を養う。



特によいと感じた表現（行動・会話・考え方）を一つ選び、人物の生き方について引用して紹介しましょう。特によいと感じた言葉の意味や使い方も調べて、理由もまとめましょう。



手塚治虫さんのお母さんの「人間は、好きな道をまっすぐに進むのがよいのです。」という言葉が素敵だと感じました。道には、「方面」や「進路」という意味があります。医学の勉強とマンガとの両立に悩んでいた治虫さんは、お母さんのこの言葉のおかげで、まんがの世界に進んで好きなことでがんばれたのだと思いました。私もこの言葉のように、好きな道を見つけてまっすぐに進んでいきたいと思います。



○ 小中連携の視点

中学1年では、語彙指導において「語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること」が指導事項の一つである。そこで、小学校でも辞書的な意味だけでなく前後の文脈の中での使われ方を意識させる指導を行う。

小中連携
の視点

○ 主体的・対話的で深い学びの視点

書いたものを読み合い、友達が着目した言葉の意味を知ること、優れた表現に触れたり語彙を豊かにしたりできるようにする。



主体的、対話的で
深い学びの視点

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【R2】復習シート 小学校6年 国語(常規) 埼玉県学力・学習状況調査(小学校)

復習シート 第六学年 国語

組	番号	名前

【同訓異義語を選ぶ問題】
 ① 次の文の「 」部分に当てはまる漢字を、下の()から一つ選んで、○で囲みましょう。
 ① 刺つ お茶を飲む (熱い・暑い・厚い) **レ**ベル9
 ② 時間を 出かける (測る・量る・計る) **レ**ベル9
 ③ 学問を おさめる (修める・治める) **レ**ベル9
 ④ 姿を あらわす (現す・表す) **レ**ベル9
 ⑤ 山に のぼる (上る・登る) **レ**ベル9

【同じ意味で使われている語句を選ぶ問題】
 ② 次の「山」と、同じ意味で使われている山はどれですか。1から4までの中から1選んで、その番号を書きましょう。
 書類が「山」になっている。
 1 テストで山をはる。
 2 お別れ会も、山をむかえる。
 3 質問が山ほどある。
 4 日本で一番高い山に登る。

【出典】R2 復習シート
【小学6年生】言葉
レベル9

○ 調査問題

となりの木村さんの家で夕飯を食べました。

7
□ の文の……線部を、——線部の敬語と同じ使い方の敬語に直さない。
父がそのように申しました。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 文中の言葉を例にならって適切な敬語に直して書く。

【出題の趣旨】 敬語（謙譲語）の種類を正しく理解し適切に使う。

○ 誤答分析

解答類型	①正答	2 尊敬語と解答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	66.0%	11.6%	18.5%	4.0%

○ 正答率は66.0%であった。「いただきました」「頂きました」「食べさせていただきました」または「いただいた」「頂いた」「食べさせていただいた」（丁寧の助動詞「ます」がない）といった謙譲語を解答するものである。

○ 誤答の「2」は、尊敬語に直している解答である。主な誤答は、「めしあがりました」「めしあがった」「お食べになりました」「お食べになった」「食べられました」「食べられた」などである。

理由としては、尊敬語と謙譲語の違いや、自分だけではなく身内の言動についても謙譲語を使わなければいけないということの理解が不十分であることが考えられる。また、知っている尊敬語や謙譲語が少ないことも考えられる。

○ 尊敬語、謙譲語を考えさせる際には、行動をしているのは誰かということに着目した指導が必要である。また、児童の日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに慣れるようにすることが重要である。

○ 指導上のポイント

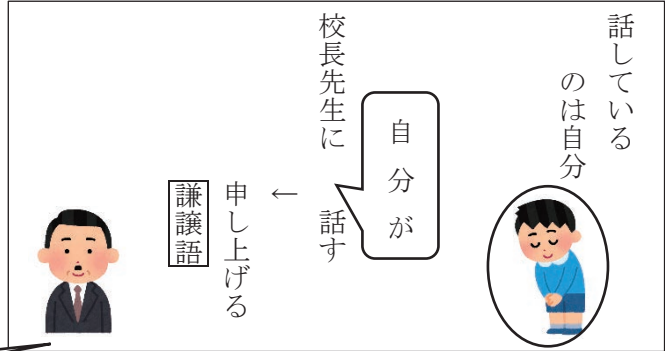
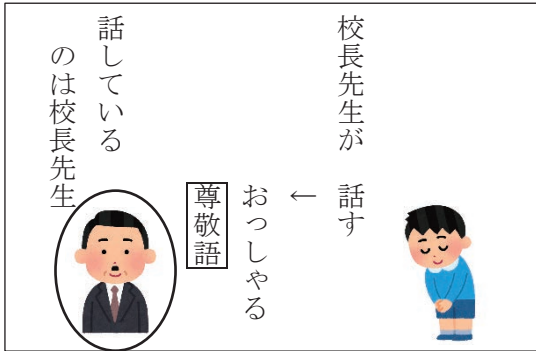
行動をしているのが誰かに着目し、視覚的に理解を促す敬語の指導

<学習指導例>

敬語とは、相手を敬う気持ちを表した言い方であること、また、尊敬語と謙譲語の違いについて視覚的に理解できるように指導を行う。

(1) 似た場面を提示し、絵や図から考える活動

「校長先生が話す」場面と「校長先生に話す」場面を比べ、行動しているのは誰かを考えさせる。



<指導のポイント>

主語がない文の場合でも、その行動をしているのが誰なのかを考えさせる。

(2) 日常生活の中で敬語に慣れさせる工夫

尊敬語と謙譲語で、表し方が異なる言葉がある。それらについて、「敬語変換表」にまとめて提示したり、職員室の入口など、実際に使う場所に常時掲示したりして視覚的に理解を促すとともに、使うことに慣れさせる。

基本の例		特別な言い方の例									
書かれる	くれる・られる	お書きになる	お〜になる	ご覧になる	召し上がる	お尋ねになる	いらつしやる	いらつしやる	おっしゃる	相手の言動	尊敬語
		お書きする	お〜する	拝見する	いただく	うかがう	おる	参る	申す・申し上げる	自分や身内の言動	謙譲語
		(例)書く		見る	食べる	尋ねる・訪ねる	いる	行く・来る	言う	通常	

敬語変換表の例

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

確かめプリント「中学校1年生」言語④

年組 番名前

ア	レベル6
イ	レベル6
ウ	レベル9
エ	レベル6
オ	レベル9

確かめプリント「中学校1年生」言語③

年組 番名前

ア	レベル8
イ	レベル9
ウ	レベル7
エ	レベル8
オ	レベル9
カ	レベル7

【出典】 コバトン問題集
【中学校1年生】言葉③・④
レベル6～9

○ 調査問題

次の文の傍線部の「春になると」と「染まる」の関係として、適切なものを、あとの1～4の中から一つ選びなさい。

この土手は、春になると満開の桜が咲きほこり、ピンク色に染まる。

4 補助の関係
3 修飾と被修飾の関係
2 並立の関係
1 主語と述語の関係

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 文節同士の関係として適切なものを選択する。

【問題の概要】 修飾・被修飾の関係を理解する。

○ 誤答分析

解答類型	1 1と解答	2 2と解答	③ 正答 3と解答	4 4と解答	0 無解答
反応率	15.5%	10.4%	53.5%	20.1%	0.5%

○ 正答率は53.5%であった。主な誤答は、解答類型4の20.1%であるが、他の解答類型も反応率が2桁であることから、文節どうしの関係をよく理解せずに選択していることが考えられる。

○ 例えば、傍線部が文末にあることから述語と判断し、「述語」という言葉が入っている選択肢1を選んだり、「(春に) なる」と「(ピンク色に) 染まる」の述語が対等に並んでいると捉え、「並立の関係」として選択肢2を選んだりしていることが考えられる。

○ 指導に当たっては、文法の授業だけでなく、日頃から「話すこと」や「書くこと」などの授業においても、文節の関係をとり上げ、生徒に意識させることが必要と考えられる。

○ 指導上のポイント

「文節の関係」について定着を図る指導

小中連携
の視点



「桜がピンク色に染まる。」について考えます。
まずは、「文節」に区切り、「文の成分」を考えましょう。

桜が / ピンク色に / 染まる。
主語 修飾語 述語

小学校では「分かち書き」で書いてありました。
「ね」や「よ」を間に入れると区切りやすいです。



それぞれの文節は、どんな関係がありますか。「文節の関係」を整理してみましょう。



- 主・述の関係……………「誰（何）が」を表す文節と
「どんなだ」を表す文節
- 修飾・被修飾の関係…詳しく説明する文節と
説明される文節
- 並立の関係……………二つ以上の文節が対等に並ん
でいる。
- 補助の関係……………上の文節が実質的な意味を表
し、下の文節がそれを補う。



「桜が」と「染まる」は、「何
が」「どうした」に当たるの
で、主・述の関係です。



「ピンク色に」と「染まる」
は、詳しく説明したり説明
されたりしているので、修
飾・被修飾の関係です。



「染まる」は、述語であり、
被修飾語でもあります。

桜が / ピンク色に / 染まる。
主語 修飾語 述語 被修飾語

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

- ア・主語・述語の関係
- イ・修飾・被修飾の関係
- ウ・接続の関係
- エ・並立の関係
- オ・補助の関係

- 5 動物園でパンダが笹を食
べるのを見た。
- 4 取ってほしい。
そこに置いてあるものを
- 3 延期だ。
今日の体育祭は雨だから、
- 2 おやつに紅茶とケーキを
用意した。
- 1 ストだ。
彼女の父は、有名なピアニ

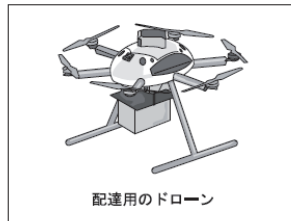
さい。
次の文を読み、傍線部の文節どうしの
関係を選択肢から選び記号で答えな
さい。

【出典】
R3復習シート
【中学校2年】
言語事項
レベル8・9

○ 調査問題

19 小山さんのクラスでは、「興味を持った話題を紹介しよう」というテーマで、スピーチをすることになりました。小山さんは、「ドローンによる配達」について発表しています。次は、小山さんの【スピーチ】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。
【スピーチ】

みなさんは、ドローンによる配達についてご存じでしょうか。「ドローン」という小型の飛行ロボットに荷物を積んで運ぶ方法です。日本の配達サービスの取り扱件数は、年々増加しています。さらに大口配達より小口配達が増えています。小口配達は、みなさんの家に届く宅配便のようなもので、トラックの中には、それぞれ別の宛先に届ける荷物が積まれています。大口配達は、トラック一台分の荷物が、そのまま店舗や施設など同じ宛先に届けられる配達です。そのため、小口配達の方が配達に時間がかかり、需要に対して配達側の人員や時間が足りないことが問題になっています。そこで新しい配達方法として候補に挙がったのが、ドローンによる配達です。ドローンは車や人が通れないところも、飛行して通ることができるので、交通の混雑などの影響も受けずに荷物を届けることができます。現在、ゴルフ場を利用した、ドローンによる配達の実験も行われています。また、道が倒木や陥没で通れないところに物資を届けることもドローンによって可能になります。ドローンによる配達は、さまざまな利点がありますが、課題もたくさんあります。しかし、その課題を解決すれば、いつか、空に荷物を積んだドローンが行き交う時代が訪れるかもしれません。



(1) 小山さんのスピーチの工夫として適切なものを、次の1〜5の中から二つ選びなさい。

- 1 分かりにくい言葉について後から補足をして、理解を促している。
- 2 あらかじめ何を話すか項目を立てて、聞き手の関心を引いている。
- 3 別の立場からの意見も取り上げて、内容に説得力を持たせている。
- 4 最後に呼びかけの言葉を使用して、伝えたい内容を強調している。
- 5 話題に対する事例を挙げて、イメージがしやすいようにしている。

○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題の概要】 スピーチの工夫として適切なものを選択する。
【出題の趣旨】 聞き手の立場に立って、分かりやすく話す工夫をする。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 「1」と 「5」と解答	2 「1」と「5 以外」と解答	3 「1以外」と 「5」と解答	9 その他の解答	0 無解答
反応率	15.7%	13.1%	44.8%	24.2%	2.3%

- 正答率は15.7%であった。
- 主な誤答は、「1以外」と「5」であった。理由としては、選択肢2の「あらかじめ何を話すか項目を立てて」という文を読んで【スピーチ】1段落目の『ドローン』という小型の飛行ロボット」という部分を項目だと捉えてしまったことが考えられる。
- 誤った選択肢の2、3、4は比較的イメージしやすいスピーチの工夫であり、問題文のスピーチ内容と十分に照らし合わせることなく、正答となりそうなものを、経験から予想して選んでしまっている可能性が考えられる。

○ 指導上のポイント

スピーチ原稿を読み合い、互いに効果的な表現の工夫を話し合う指導



主体的、対話的で深い学びの視点

ペアになって、友達が書いたスピーチ原稿を読み合ひましょう。聞き手の心を動かすスピーチをするために気を付けたところを話し合ひ、さらに良いスピーチにしよう！



ポイント③を意識して作成しました。自分の思いを聞き手に伝わるように表現するのが難しいね。

ポイント⑥の問かけがあって聞き手を意識しているのが伝わってきたよ！
ポイント①にあるように、「海洋プラスチック」が分からない人がいると思うよ。分かりやすい言葉に換えたり、説明を入れたりするのっていいんじゃないかな？



【田中さんのスピーチ】

みなさんは、この写真を見たことがありませんか。私はこの写真を見たとき、胸がしめつけられるような思いをしました。……

原因は海洋プラスチックです。その一つ

に、私たちが身につけるようになったマスクがあげられています。資料によると、約十五億枚のマスクが海に流れ込んでいます。その中で、「マスクをポイ捨てたなんてしないし関係ない」そう思っている人もいます。……

私は、これ以上動物が苦しんでいる姿を見たくはありません。生態系を守るためにも、できることを一緒に始めてみよう。

○作成・工夫のポイント

- ① 分かりにくい言葉を言い換えている。
- ② あらかじめ何を話すか伝えていく。
- ③ 自らの意見・考えが書かれている。
- ④ 具体例を挙げて分かりやすくしている。
- ⑤ 別の立場からの考えも取り入れている。
- ⑥ 聞き手を意識し、問かけしている。

確かに分からない人もいるかもしれないね。「私たちの生活や経済活動から最終的に海洋をたどりプラスチックごみ」と言い換えることにするよ。



ポイント④も意識されていますね。友達の意見をもとに、スピーチ原稿を直し、聞き手の心を動かすスピーチにしましょう。



○ 復習シート・コバトン問題集の活用

【R2】復習シート 中学校3年 国語（話すこと・聞くこと）

【出典】
R2 復習シート
【中学3年生】
話すこと・聞くこと
レベル8・9

次の問題を解きなさい。
佐藤さんは、「自分たちの地球を考えると」というテーマで、総合的な学習の時間に取り組み、次のようなスピーチをしました。良いものだから、便利利さうだから、と多くのものを買い取っては、今持っているものを大切に使い、もともと持っているものを減らすことが必要だと考えています。……

地球環境を守り、持続可能な社会にいくために、私はわたしたちが生活する上で必要なのは、良いものだから、便利さうだから、と多くのものを買い取っては、今持っているものを大切に使い、もともと持っているものを減らすことが必要だと考えています。……
また、わたしたちが生活する上で必要なのは、良いものだから、便利さうだから、と多くのものを買い取っては、今持っているものを大切に使い、もともと持っているものを減らすことが必要だと考えています。……
また、わたしたちが生活する上で必要なのは、良いものだから、便利さうだから、と多くのものを買い取っては、今持っているものを大切に使い、もともと持っているものを減らすことが必要だと考えています。……



【山田さん】
自分の意見からその根拠を説明する、順序よく話してくれたので、言いたいことがよくわかりました。また、はじめの部分は、自分の意見を繰り返すだけでなく、未来についてという視点を出しているのも、印象に残りました。説明の内容も具体的で身近なものだったので、自分に当てはめて考えることができました。ただ、まとめの箇所に出てきた「例えば、美味しい食べ物だから」という一文は、ここにあるよりも、……。
【鈴木さん】
確かに「ものを減らす」という考えはわかりやすい内容でしたが、「ものを大切に使う」という考えは古くなくないか」という点について説明は不十分だったと思います。電化製品は古くなくないか」という点について、新しいものを使う方がエコになることと販売されているものもあるから、たまたま新しいものだけを使うことが地球環境を守ることに繋がるとはならないから……。
【論理の展開に注意して理解する問題】
1 山田さんの意見について、最後の「……」に当てはまる内容として最も適切なものを1～4の中から一つ選びなさい。
2 一番最後に述べた方が、自分の言いたいことがより強調されて効果的だと言っています。自分の意見と理由を述べた後に加えることで、理由が説得力が増すと言っています。同じ具体例である文房具を買う話の後述と、新しい視点を持つと言っています。一番最初に述べた方が、大切な食品についてのこと印象に残ってよいと言っています。

○ 調査問題

3 次の問題に答えましょう、

(4) あめが28こあります。1人に4こずつ分けたら、7人に分けられました。この3つの数の^{かんけい}関係を、**あめ全部の数**、**1人分のあめの数**、**人数**を使って、言葉の式で表したものを、次の㉠から㉤の中から1つえらびましょう。

㉠ $\text{人数} \div \text{1人分のあめの数} = \text{あめ全部の数}$

㉡ $\text{人数} \div \text{あめ全部の数} = \text{1人分のあめの数}$

㉢ $\text{1人分のあめの数} \times \text{人数} = \text{あめ全部の数}$

㉣ $\text{あめ全部の数} \times \text{人数} = \text{1人分のあめの数}$

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 ある数量の関係を言葉の式で正しく表したものを選ぶ。

【出題の趣旨】 数量の関係を式に表すことができる。

○ 誤答分析

解答類型	1 アと解答	2 イと解答	③ 正答 ウと解答	4 エと解答	9 左記以外	0 無解答
反応率	12.9%	20.8%	29.3%	34.5%	0.0%	2.4%

○ 正答率は29.3%であった。

○ 主な誤答は㉣であった。考えられる理由としては、問題文に「4こずつ」とあることから、わり算の場面であると考え、選択肢はかけ算で表されているが、「あめ全部の数÷人数=1人分のあめの数」と誤って捉えたということである。

○ ㉠、㉡は、「分ける」という言葉からわり算の場面と捉え、わり算で表されている選択肢を解答したと考えられる。

○ 指導上のポイント

式と図を関連付けることで乗法と除法の相互関係の理解を深める指導

問題 次の場面を式に表しましょう。

「あめが28こあります。何人かで同じ数ずつ分けたら、1人分は4こになりました。」



同じ数で分けると書いてあるから、わり算で、 $28 \div 4$ でいいのではないかな。



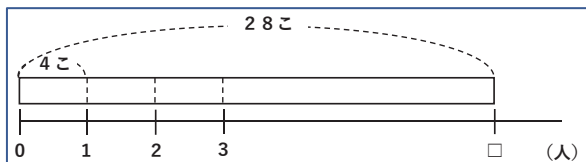
全部の数 \div 人数=1人分の数だから
 $28 \div \square$ で、その答えが1人分の数で
4だから、 $28 \div \square = 4$ ではないかな。



1人分 \times いくつ分=全部の数 \square が求め
られます。今回は、いくつ分が分から
ないから、 \square を使って $4 \times \square = 28$ で
いいと思います。



式がいくつもできたけど、どれが正しいのでしょうか。



図で表すと、28を \square 人で等分する
から、 $28 \div \square = 4$ は正しいと思いま
す。



図をみると、1人分が4こで、 \square
人分で28こになっているから、 4
 $\times \square = 28$ もいいのではないかな。
 \square を求めるためには、 $28 \div 4$ をす
れば求められるから、どちらの式も
いいと思う。



テープ図をもとにすると、 $4 \times \square = 2$
 8 も $28 \div \square = 4$ も正しく場面を表して
いることが分かりますね。また、 \square を求
めるには、 $28 \div 4$ をすればいいことも
分かりますね。

○児童は様々な式を考えることが想定される。図を使いながら、どの式が正しいのかを考えたり説明したりする活動を取り入れる。それにより、「分けるからわり算」というような場面の捉えを「4を \square 倍すると28」になるなどの、正しい数量関係の捉えへと深めることが期待できる。

○同じ図でも乗法、除法両方の見方ができる。式の意味を図で説明することで、除法は乗法の逆算であることの理解を深めることが期待できる。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

6 下の問題を、答えを「 $15 + 3$ 」「 $15 - 3$ 」「 15×3 」「 $15 \div 3$ 」で求める問題に分け、問題の記号を書きましょう。 **レベル4**

- ア あめが15こあります。友だちに3こあげると、あめは何こになるでしょう。
- イ 3人の友だちに、あめを15こずつ分けました。あめは全部で何こですか。
- ウ あめが15こあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになりますか。
- エ お父さんの年れいは、15才のたかし君の3倍です。お父さんは何才ですか。
- オ 15才のたかし君には、3つ年上のお姉さんがいます。お姉さんは何才ですか。
- カ 15才のたかし君は、弟の年れいの3倍です。弟は何才ですか。

【出典】 R2復習シート
【小学4年生】数と計算
レベル4

○ 調査問題

3 次の問題に答えましょう。

(5) ゆうたさんは水泳すいえいの練習をしています。

月曜日にクロールで泳いだきよりの記録は20m、木曜日の記録は30mでした。月曜日の記録をもとにすると、木曜日の記録は何倍ですか。答えを書きましょう。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 小数を用いて、何倍かを表す。

【出題の趣旨】 倍を表す数が小数のとき、何倍かを求めることができる。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 1.5 または $\frac{3}{2}$ と解答	9 左記以外	0 無解答
反応率	46.0%	49.7%	4.3%

○ 正答率は46.0%であった。

○ 主な誤答は、「9 左記以外」で49.7%であった。そのなかでも、10倍という誤答が多い。20mと30mの差である10を、そのまま解答していると考えられる。

○ 基準量を1としたときに、比較量がいくつに当たるかを「倍」という意味で正しく捉えていないことが原因と考えられる。

○ 指導上のポイント

場面を図と関連付けながら説明する活動を通して「倍」を理解する指導

問題：ゆうたさんの住むA市に、高さ30mのビルが建ちました。ゆうたさんの通う西小学校の校舎の高さは12mです。

このビルの高さは、西小学校の校舎の高さの何倍ですか。



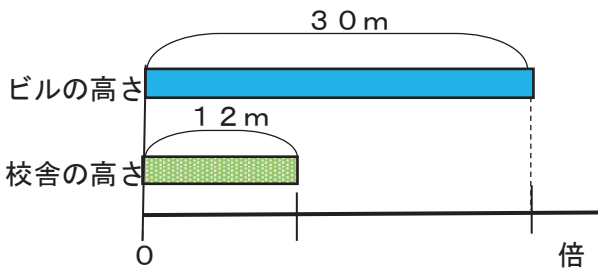
もとにするのは、どちらですか。説明しましょう。



どっちがもとなのかな？



「校舎の高さ」の何倍かが「ビルの高さ」ということだから、もとにするのは「校舎の高さ」じゃないかな。



「このビルの高さは」と聞いているから、もとにするのは「校舎の高さ」じゃないかな。



もとにする高さが分かりましたね。では、もとにする高さを使ってテープ図を完成させましょう。

テープ図等を書かせることで、数量の関係や答えの見通しを持つことができます。もとにする量は何かを問うことで問題にもどり、校舎の高さ12mを1と見ることに気付かせ、もとにする量を1とみることを意識させましょう。



12mがもとになるから、12を1とみるのか。12の2倍だと24。3倍だと36になる。あれ？何倍と表せばいいのかな。

基準量を1としたときに比較量はいくつにあたるかという意味で「倍」の意味を捉えることができるようにしましょう。既習の整数倍と同じ構造であることから「倍」の意味を拡張し、はしたの分は、1をさらに10等分したうちのいくつ分で表すことが捉えられるようにしましょう。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

けんたさんは、折り紙を24枚、ゆかさんは、折り紙を6枚持っています。

けんたさんの持っている折り紙の数は、ゆかさんの持っている折り紙の数の何倍ですか。

この問題の答えを求めるための式を、下のアからエの中から1つ選びましょう。

レベル4・5

- ア $24 + 6$
- イ $24 - 6$
- ウ 24×6
- エ $24 \div 6$

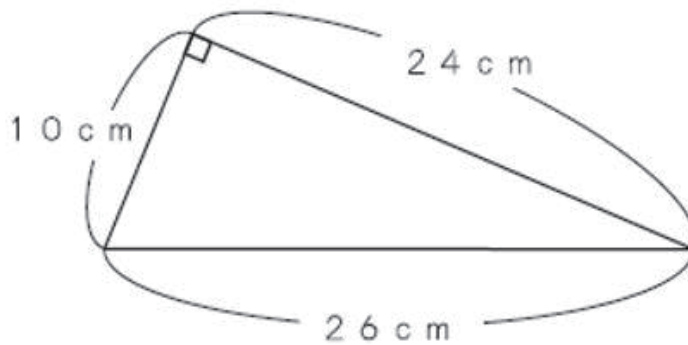
【出典】 R1復習シート

【小学4年生】数と計算 レベル4・5

○ 調査問題

4 次の問題に答えましょう。

(1) 次の直角三角形の面積を求めましょう。



○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 三角形の面積を求める。

【出題の趣旨】 三角形の面積の求め方について理解している。

○ 誤答分析

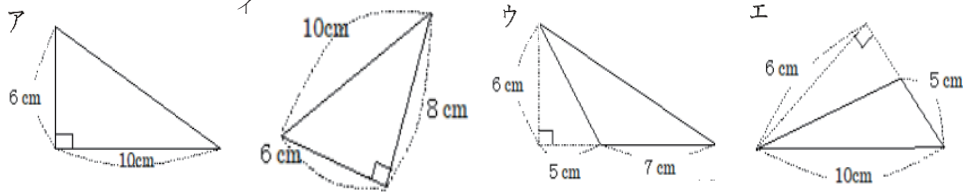
解答類型	① 正答 120 (cm ²) と解答	9 左記以外	0 無解答
反応率	40.0%	54.4%	5.6%

- 正答率は40.0%であった。
- 主な誤答は240 (cm²)であった。三角形の面積を求める公式 (底辺×高さ÷2) について、÷2の意味理解が不十分であることが考えられる。
- その他の誤答には、130 (cm²)、6240 (cm²)があった。「底辺」及び「高さ」に当たる数値を正しく選び出すことができていないことが原因であると考えられる。

○ 指導上のポイント

底辺と高さの位置関係を正しく理解する指導

次の三角形の面積を求めたいのですが、底辺と高さを探せますか？

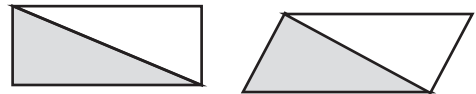


アは、10cmを底辺、6cmを高さとするとなら $10 \times 6 \div 2$ でできそう。

そうそう！こういうこと！

長方形や平行四辺形の面積 $\div 2$ をすると
三角形の面積を求めることができたよね！

三角形の面積を二つ合わせると長方形や平行四辺形ができるからだよ。



三角形の面積の公式を作るときには、図と式を関連付けて説明しましょう。

底辺と高さはいつも垂直の関係でしたね！
それは図形の向きが変わっても同じですよ。

イは、三つの辺に長さを書いてあるの
で、どの辺を底辺にすればよいのか迷ってしま
うよ。

ウとエは、三角形の外側にも長さが
書いてあって、どうすればよいのかな？
むずかしいな。

イで垂直の関係になっているのは、
6cmと8cmだから、
それらが底辺と高さだね。

高さは、図形の外にあることもあります。
平行四辺形の時にもありましたね。いつも
底辺と高さは垂直の関係でしたね。



なるほど！
ウは、底辺が7cm・高さが6cmで、
エは、底辺が5cm・高さが6cmだね！

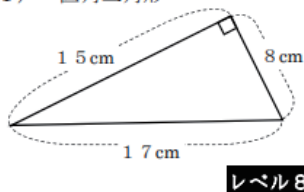
水平になっていない辺を底辺としている図形や不要な辺の長さが書かれている
図形を取り上げ、必要な情報を選んで、求める活動をしていきましょう。



○ 復習シート・コバトン問題集の活用

1 次の図形の面積を求めましょう。

(1) 直角三角形



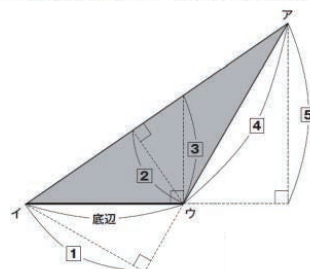
レベル8

【出典】R4 復習シート
【小学6年生】図形 レベル8

(1) 下の三角形アイウの面積の求め方を考えます。

辺イウを底辺とするとき、三角形アイウの高さはどの長さになりますか。

下の 1 から 5 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



レベル4

【出典】R4 コバトン問題集
【小学5年生】図形⑨ レベル4

○ 調査問題

- 4 次の各問いに答えなさい。
 (4) 次の表は、20個の卵の重さを5gずつに区切って、その個数を整理したものです。
 60g以上の卵の割合は全体の何%か求めなさい。

卵の重さ		個数 (個)
重さ (g)		
40 ^{以上}	～ 45 ^{未満}	1
45	～ 50	0
50	～ 55	4
55	～ 60	3
60	～ 65	4
65	～ 70	6
70	～ 75	2
合計		20

○ 調査問題の趣旨・内容

- 【問題の概要】 度数分布表からある範囲の割合を求める。
 【出題の趣旨】 度数分布表から特定の範囲以上の割合を求めることができる。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 60 (%) と解答	2 12 (%) と解答	3 20 (%) と解答	4 75 (%) と解答	9 左記以外	0 無解答
反応率	51.4%	5.2%	4.2%	1.5%	25.5%	12.3%

- 正答率は51.4%であった。
- 主な誤答は、「12(%)」「20(%)」「75(%)」であった。理由としては、「12(%)」は60g以上の個数の合計を解答、「20(%)」は60g以上65g未満の個数の割合を解答、「75(%)」は55g以上60未満の階級も含めた割合を解答したからと考えられる。
- 左記以外の解答が25.5%であった。その中で5(%)と解答した児童が多く見られた。60g以上65g未満の個数が4であるため、合計の20を4で割って出た数を解答したものと考えられる。小5の学習内容である割合の求め方について、振り返らせ、改めて押さえる必要があると考える。また、統計的な問題解決の方法で考察していく学習を通して、表やグラフで「範囲」を活用するよさ→「広がり範囲」に着目させるよさを実感させたり、「以上」「以下」「未満」の語句の意味理解を深めたりすることが必要であると考えられる。

○ 指導上のポイント



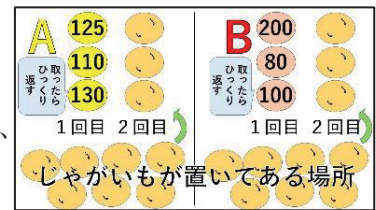
主体的、対話的で深い学びの視点
ゲームを通して問いをもたせ、生徒が重さの範囲やちらばりという見方に気づき、比べるという考え方を働かせられる授業にしたい。

データをヒストグラムに表すよさを実感する指導

<学習活動例>

○場面設定○

- 家庭科で「ジャーマンポテトづくりをする」という話題を扱う。
- AとBのスーパーマーケットでそれぞれ20こじゃがいもを購入。それぞれの重さの合計は2.4kg。
始める前に平均がどちらも1こ120gであることを確認する。
- 教師はAスーパー、児童はBスーパーからじゃがいもを3こ取り、重さの合計が360gに近い方が勝ちというゲームを行う。
- Aの範囲は「100g～140g」、Bの範囲は「70g～200g」とする。



じゃがいもが置いてある場所
ゲームを通して問いをもたせる

○生徒の反応○



わたしの方は、「200g」「80g」「100g」だから、合計「380g」！

先生は、「125g」「110g」「130g」だから、合計「365g」！

やった！勝ちました。運がよかったな。さて2回戦やりたい人（別の子を指名）



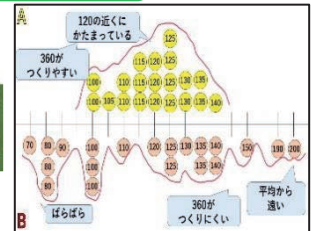
ぼくの方は、「190g」「135g」「140g」だから、合計「465g」！

先生は、「135g」「115g」「120g」だから、合計「360g」！

やった！勝ちました。運がよかったな。



先生は何かずるいと思う！他の数も全て見せてください！



その後は、生徒が一人一人ワークシート等に表示し、A、Bのデータを見比べる。⇒全体で情報共有する。

小中連携
の視点

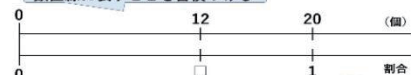
2つの数値をヒストグラムに表しながら比較する活動を通して、「ちらばり」「範囲」「最大値」「最小値」「以上」「未満」を押さえ、データを分類整理するよさを実感させるようにする。

数直線を活用した割合について指導

<小学5・6年生での活動>

- 数直線を様々な題材で取り組み使えるようにする。
- わり算から立式せず、かけ算から立式しわり算の式に変える。

数直線に表すことを習慣づける



かけ算の式から始めることを習慣づける

式 $20 \times \square = 12$

$\square = 12 \div 20$ ここで初めてわり算を使う

$\square = 0.6$ 割合を百分率に変える

$0.6 \times 100 = 60$ 答え 60%

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

〔「データの活用」を問う問題〕

レベル5・6

1 次の問題を解きなさい。

(1) 下の度数分布表は、ある小学校の6年生男子のボール投げの記録をまとめた一部です。度数分布表だけから求めることができる値を、アからオの中から2つ選んで、その番号を書きましょう。

【1組のボール投げの記録】

きょり (m)	人数 (人)
10 以上 ～15 未満	1
15 以上 ～20 未満	7
20 以上 ～25 未満	2
25 以上 ～30 未満	2
30 以上	1

【2組のボール投げの記録】

きょり (m)	人数 (人)
10 以上 ～15 未満	2
15 以上 ～20 未満	3
20 以上 ～25 未満	3
25 以上 ～30 未満	5
30 以上	2

- ア 最頻値
- イ 30m以上の人数の割合
- ウ 平均値
- エ 20m未満の人数
- オ 中央値

答え

と

【出典】R3復習シート

【中学1年生】

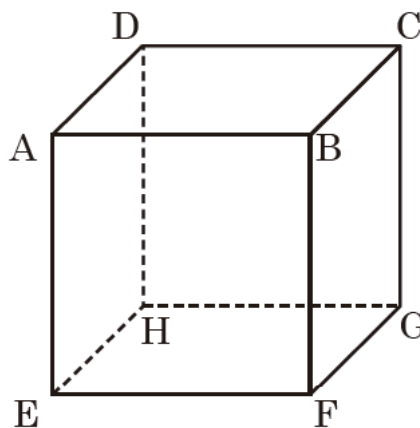
データの活用

レベル5・6

○ 調査問題

3 (4) 次の図のような立方体があります。辺ADと平行な面はどれですか。下のアからカの中からすべて選びなさい。

- ア 面 AEFB
- イ 面 BFGC
- ウ 面 CGHD
- エ 面 DHEA
- オ 面 ABCD
- カ 面 EFGH



○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 立体において、ある辺と平行な面をすべて選ぶ。

【出題の趣旨】 立体における平行な面について理解している。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 イ、カと 解答	2 イのみ 解答	3 カのみ 解答	4 イ+カ以外を 解答	5 カ+イ以外を 解答	9 左記以外	0 無解答
反応率	45.8%	9.0%	4.2%	4.9%	5.2%	30.3%	0.6%

○ 正答率は45.8%であった。

○ 主な誤答は、「イのみ解答」「カのみ解答」であり、正答の一方のみを選んだ反応率は計13.2%であった。

誤答の理由としては、『直線が平面上にある。』『直線が平面と交わる。』『直線と平面が平行である。』と直線と平面の位置関係を正しく理解できていないことが考えられる。

○ その他

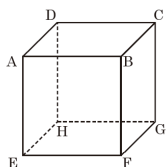
無解答率は0.6%だが、半数以上の生徒が正答を選択することができない問題であった。

解答類型9の反応率30.3%うち、「イ、エ、オ、カ」や「エ、カ」など、辺ADを含んでいる面を選ぶ生徒が半数近くいた。直線が平面に含まれているかなど、直線と平面の位置関係について正しく指導をすることが大切であると考えられる。

○ 指導上のポイント

ICTを用いて、直線と平面の位置関係を確認しながら理解を深める指導

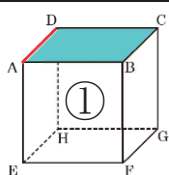
問題 次の図のような立方体があります。辺ADと平行な面はどれですか。



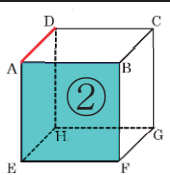
実際に図にかきこんで調べてみるといいんじゃないかな。



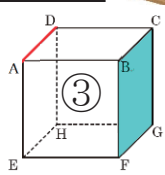
ICT端末を使って、辺や面に色を付けてみると、6通り見つけれられたよ。



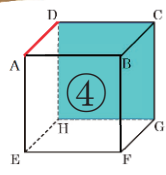
面 ABCD



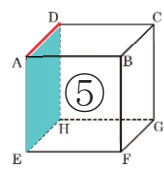
面 AEFB



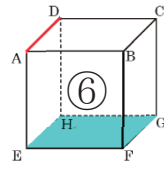
面 BFGC



面 DHGC



面 AEHD



面 EFGH



直線と平面の交わり方について
①～⑥を分類するとどうなりますか？

どのような視点で分類したのでしょうか。

『①と⑤』、『②と④』、
『③と⑥』の3つに
分類できます。



①と⑤直線は平面上にある ②と④直線は平面と交わる ③と⑥直線と平面は平行
という分類をしました。



直線と平面の位置関係をおさえられましたね。

AD // BC から、辺 AD を含む面 ABCD が平行だと思うけど平面上にあるから違うね。

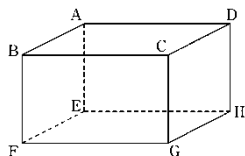
辺 AD と平行な面は、面 BFGC と面 EFGH の 2 つだね。



○ 復習シート・コバトン問題集の活用

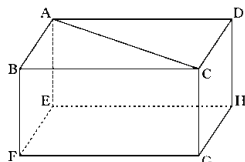
- (1) 次の図の直方体には、辺CGに平行な面がいくつかあります。そのうちの直方体の面を1つ選んで書きなさい。

レベル8



- (2) 次の図のような直方体があります。ACは長方形ABCDの対角線です。このとき、直線ACと平行な面を書きなさい。

レベル7



【出典】

コバトン問題集

【中学1年生】図形⑱

(1) レベル8 (2) レベル7

○ 調査問題

1 次の各問いに答えなさい。

(2) $\frac{2x-y}{3} - \frac{x+y}{2}$ の計算結果として正しいものを、次のアからエの中から1つ選びなさい。

ア $\frac{x-5y}{6}$

イ $\frac{x+y}{6}$

ウ $x-2y$

エ $x-5y$

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 文字式の計算をして、適切なものを選ぶ。

【問題の趣旨】 分数を含む整式の加法と減法の計算ができる。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 アと解答	2 イと解答	3 ウと解答	4 エと解答	9 左記以外	0 無解答
反応率	60.1%	28.4%	6.0%	5.2%	0.0%	0.4%

○ 正答率は60.1%であった。

○ 主な誤答は、「イ $\frac{x+y}{6}$ 」で、28.4%であった。理由としては、通分後の分子を分配法則で展開する際、負の数を正確に処理できていないということが考えられる。

○ その他の誤答としては、異分母の分数の加減において、通分ができなかったり、等式の性質と混同して分母をはらったりしていることが考えられる。指導する際は具体的な例をもとにして、負の数を含む分配法則について符号に着目させるとともに、通分についても丁寧に確認することが大切である。

○ 指導上のポイント

計算過程の分析を通して、分数を含んだ多項式の計算について理解を深める指導

問題 $\frac{2x-y}{3} - \frac{x+y}{2}$ を Aさんと Bさんは次のように計算して答えを求めました。
2人の考えがそれぞれ正しいかどうか考えなさい。

Aさん

$$\begin{aligned} & \frac{2x-y}{3} - \frac{x+y}{2} \\ &= \frac{4x-2y-3x+3y}{6} \\ &= \frac{x+y}{6} \end{aligned}$$

Bさん

$$\begin{aligned} & \frac{2x-y}{3} - \frac{x+y}{2} \\ &= 2(2x-y) - 3(x+y) \\ &= 4x-2y-3x-3y \\ &= x-5y \end{aligned}$$

ポイント① 「個人での考察」と「生徒同士で説明し合う活動」を通して理解を深める。



Aさんは、分配法則でかっこをはずすときに、後ろ側のyに
- (マイナス) をかけ忘れていたと思います。



Bさんは、方程式を解くときと同じように、分母をはらって
計算してしまっているのだと思います。



主体的、対話的で
深い学びの視点

ポイント② 必要な既習事項を、具体例を通して確認しながら進める。



$-3(2x+1)$ はどのように
計算しましたか。

学習内容
の系統性
の視点



$\frac{2}{3} - \frac{1}{2}$ はどのように
計算しましたか。

小中連携
の視点

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

(2) $\frac{3x-4y}{2} - \frac{x-2y}{3}$

【出典】R3復習シート
【中学校3年生】数と式 レベル9

(2) $\frac{3x+y}{4} - \frac{2x-y}{3}$

【出典】R2復習シート
【中学校3年生】数と式 レベル7

○ 調査問題

6 次の(1)～(5)の会話の()に入れる英文として最も適切なものを下のア～エのうちからそれぞれ1つ選びなさい。

(2) A: What does your mother do after dinner?

B: ()

ア She was tired.

イ She is making curry.

ウ She usually reads a book.

エ She went to the library.

※このページでは(2)の解答について分析を行っています。

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】 行動についてたずねる質問に対する答えを選ぶ。

【出題の趣旨】 会話文の内容に合う表現を選択することができる。

○ 誤答分析

解答類型	1 誤答 ア	2 誤答 イ	③ 正答 ウ	4 誤答 エ	9 左記以外	0 無解答
反応率	6.8%	35.1%	44.5%	12.9%	0.0%	0.6%

- 正答率は44.5%であった。この問題は、選択式問題のため、準正答はない。5W1Hで始まる疑問文なので、何を問われているのかをしっかりと読み取り、内容に合った表現を選ぶことが求められる。
- 主な誤答は、イ She is making curry.であった。原因として、問われていることを理解できず、質問文にある dinner という言葉から making curry を選んだと考えられる。また、質問の do を「～する」という意味で捉えることができず、質問文の意味を理解できなかったということも考えられる。
- 普段の授業において、5W1Hの疑問文に対して、質問の意味をしっかりと捉え、答える場面を作っていく必要がある。

○ 指導上のポイント

「即興で伝え合う力」を高める指導

即興力を高めるためには、日常生活など生徒にとって身近な話題（週末にしたこと、自由時間にする
こと、好きな季節など）について伝え合う活動を、トピックを工夫しながら、日々の授業で継続して取り
組む必要がある。

活動を行う前に教師とALTのやり取りを聞かせたり、やり取りを深めている生徒の会話を、活動後
に全体で共有したりすることにより、段階的に話す力を身に付けさせていくなどの工夫が考えられる。
また、そのやり取りの後に、「〇〇さんが使っていた～という表現がよかった」などと教師からのフィー
ドバックを全体で共有することも大切だと考える。



What do you do in your free time?

I listen to music. I like listening to music.



Oh, great! What kind of music do you like?

I like rock.



Are you in the brass band?

No, but I practice the guitar on Sundays.



☆帯活動では…

英語で言えなかった表現を
伝えたり、苦手な生徒にはい
くつか例文を提示したり個別
に支援する必要があります。

☆言語材料の導入では…

やり取りの後に、話した内
容について書く活動を行うこ
とで、文法の定着を図ります。

小中連携の視点

- 小学校では、簡単な語句や基本的な表現を使って、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝
え合うことができるようにする。
- 中学校では、簡単な語句を使って「即興で」伝え合うことができるようにする。質問の答えだけではな
く、さらに聞きたいことを質問したり、情報を付け加えたりする力も育成していきたい。

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

- 1 次の英文 (1) ~ (5) の () に入れる単語として最も適切なものを、下のア~エのうちから
1つ選びなさい。

【出典】H30 復習シート【中学2年生】読むこと レベル5~6

(1) A: What do you usually do after school?

B: I () the piano. ア practice イ go ウ like エ look

答え

- 2 次の (1) ~ (5) の指示に従って、英文を書きなさい。

(2) 自分の趣味(好きなこと)について3文の英語で書きなさい。(それぞれの文は2語以上とします。)

【出典】H28・29 復習シート

【中学校2年生】書くこと レベル7~9

答え

○ 調査問題

12 ロンドンに住んでいる友人のニナ (Nina) が春休みにあなたに会いに日本に来ることになりました。あなたは空港にニナを迎えに行くことになり、メッセージを送ろうとしています。【あなたのメモ】をもとに、【メッセージ】の空欄にあてはまる英語の語句をそれぞれ解答欄 (1) (2) に書き、文章を完成させなさい。

※このページでは (2) の解答について分析を行っています。

【あなたのメモ】

3月25日の予定
・私…2:30に羽田空港到着
・待ち合わせ場所…空港にある案内所

【メッセージ】

Hi Nina!
On March 25, I (1) _____
at Haneda airport at 2:30.
(2) _____ at the
information center in the airport.

○ 調査問題の趣旨・内容

【問題の概要】メモに基づいて、予定について説明する英文を書く。

【出題の趣旨】与えられた情報に基づいて、メッセージを正確に書くことができる。

○ 誤答分析

解答類型	① 正答 Let's meet 等	9 正答以外の解答	0 無解答
反応率	23.1%	43.3%	33.6%

- 正答率は23.1%であった。正答としては Let's meet や We will meet があつた。メモからの情報をもとに、「待ち合わせ」という状況をどのような英語で相手に伝えればよいかを考える必要がある設問である。
- 主な誤答は、Place であつた。理由としては【あなたのメモ】からの情報である「場所」という文言にのみ着目していることと、【メッセージ】にある英文の文頭部分を解答しなくてはいけないという意識が足りていないことが挙げられる。
- その他、無解答率が33.6%と高い。日本語に対する単語を知識として分かっているだけではこの類の問題は解答できない。日頃より身に付けた知識を組み合わせ、目的・場面・状況に応じて、その知識を活用し、英語で自分の考えや気持ちを伝える活動が求められる。

○ 指導上のポイント

メモや与えられた情報に基づいて英文を書く指導

1学年では



小学校では、音声を中心に自己紹介や他己紹介に取り組んでいます。中学校に入ると、それらを正確な英語で書く指導が始まります。その指導の際に、興味や関心を高めるために、メモや情報を生徒に身近な内容（クラスメイトの情報等）に置き換えて英文を書き、互いに紹介し合うなどの活動を行うことが考えられます。音声で言えた英語を文字で書けるように焦らずに指導していきましょう。

< ↓ R3中2英語復習シートより >

- 2 あなたは、英語の授業でALTの先生に自分の友人を紹介します。下のタクヤ (Takuya) かサオリ (Saori) のどちらか1人を選び、その人を紹介する英文を3つ書きなさい。なお、タクヤは男子、サオリは女子とする。 **レベル11**

タクヤ (Takuya)	サオリ (Saori)
<ul style="list-style-type: none"> ・13才である。 ・サッカー選手である。 ・横浜 (Yokohama) に住んでいる。 ・犬を2匹飼っている (持っている)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京 (Tokyo) 出身である。 ・ピアノを弾く。 ・納豆 (natto) が好きではない。 ・水泳が上手である。



小中連携の視点

小学校高学年外国語教科書「自己紹介」「他己紹介」の単元ページを活用しましょう

2学年では



この問題のように、メモや情報をもとに、日本語をそのまま英語にするのではなく、目的・場面・状況に応じて、どの表現を用いることが適切かを考えさせましょう。例えば「複数人で遊びに行く際の待ち合わせ等」の場面設定をし、グループで相談して英文を書かせることなどが考えられます。その際、これまで学習した過去形・未来形などの時制を考えさせたり、不定詞や動名詞を用いたりして、より豊かな表現を身に付けさせられるとよいでしょう。

- 生徒の興味・関心を引くような、生徒が英文を書きたくなるような課題の設定は生徒の身近な話題や目的・場面・状況の設定が肝要です。
- 一人で取り組ませる時間とグループで取り組ませる時間を設定し、互いに教え合える状況を作り出すことで考えを深めさせましょう。



主体的、対話的で深い学びの視点

○ 復習シート・コバトン問題集の活用

あなたは交換留学生のTomについて学校新聞で紹介します。Tomから聞き取ったインタビューメモの内容から、彼について説明する英文を3つ書きなさい。

【出典】 R3 復習シート

【中学3年生】書くこと レベル11

<メモ>

- ・ (出身国) オーストラリア (Australia)
- ・ (特技) 3か国語 (英語・日本語・韓国語) を話す
- ・ (趣味) 日本の音楽を聞くこと
- ・ (将来の夢) 日本で英語の先生になりたい

答え

- (1)
- (2)
- (3)